



禁止(立針)寶石入

販賣準備整頓

●本品ハ輸入防遏ノ爲ニ數年以前ヨリ製作ニ研究シ今ヤ本邦ニ於ケル下店ノ獨占事業タリ

●立針 種類 本年ハ特種數百種

●立針 御注文 御便宜ナ相計リ敏捷ニ事ニ當

●立針 價格 アルミ代寶石入一打ニ付金五拾

●代金引換 流行ノ先驅ニ有之候何卒數ノ多少ニ

●婦人小間物卸商 長電話漢花二七一九

●宮本庄七 振替貯金口座二〇〇三二



油香鶴 純粋の香油 高橋山 賜田 高橋

水害と石鹼

●水害と石鹼 水害の一方となりしと雖も、さるるにても之れが爲めに影響せられし商取引多きが中にも、本組合員の營業にして、大なる損害を受け、商取引の延滞已むを得ざるもの少なからざる中に、かの綾瀬川の堤防は二十

●水害と石鹼 然るに天候は恢復したるも、減水は、一週日を経るにあらざれば復舊し難く、復舊するも數日を機械の磨耗に費されれば作業に就くこと能はざるが故に、右諸工場に於ける製品は、少なからず、旬日の後にあらざれば市場に出すこと能はざるべしといふ、されば絶えず山の如くに堆く集れる各地よりの注文に對しても、如上の事情あるが爲めに、直ちに發送し得ざるを以て、自然その出荷も遅延すること已むを得ざるべしと信ず、是れ大方の豫め諒知あるべきことなりとす

●各地に水害ありて函館に大火あり水火の責苦を受けたる日本國民は何時の世いかなる報いによ目こそ涙れぬと物價の暴騰には眼の玉を飛び出さしめられたり、

郵便宛名の義に付急告

●郵便宛名の義に付急告 拙者姓名鈴木新吉と同姓同名の人當町に數人ある爲めに郵便物の混同を來すに誤配延滞等双方の迷惑なからず候に付爾後弊店へ郵便御差出の節は必ず、**万新商店** 度希上候

●郵便宛名の義に付急告 然るに天候は恢復したるも、減水は、一週日を経るにあらざれば復舊し難く、復舊するも數日を機械の磨耗に費されれば作業に就くこと能はざるが故に、右諸工場に於ける製品は、少なからず、旬日の後にあらざれば市場に出すこと能はざるべしといふ、されば絶えず山の如くに堆く集れる各地よりの注文に對しても、如上の事情あるが爲めに、直ちに發送し得ざるを以て、自然その出荷も遅延すること已むを得ざるべしと信ず、是れ大方の豫め諒知あるべきことなりとす

●郵便宛名の義に付急告 然るに天候は恢復したるも、減水は、一週日を経るにあらざれば復舊し難く、復舊するも數日を機械の磨耗に費されれば作業に就くこと能はざるが故に、右諸工場に於ける製品は、少なからず、旬日の後にあらざれば市場に出すこと能はざるべしといふ、されば絶えず山の如くに堆く集れる各地よりの注文に對しても、如上の事情あるが爲めに、直ちに發送し得ざるを以て、自然その出荷も遅延すること已むを得ざるべしと信ず、是れ大方の豫め諒知あるべきことなりとす

スノウ白粉發賣元

●スノウ白粉發賣元 振替貯金三七五番 長電話漢花二八五五番

●スノウ白粉發賣元 然るに天候は恢復したるも、減水は、一週日を経るにあらざれば復舊し難く、復舊するも數日を機械の磨耗に費されれば作業に就くこと能はざるが故に、右諸工場に於ける製品は、少なからず、旬日の後にあらざれば市場に出すこと能はざるべしといふ、されば絶えず山の如くに堆く集れる各地よりの注文に對しても、如上の事情あるが爲めに、直ちに發送し得ざるを以て、自然その出荷も遅延すること已むを得ざるべしと信ず、是れ大方の豫め諒知あるべきことなりとす

●スノウ白粉發賣元 然るに天候は恢復したるも、減水は、一週日を経るにあらざれば復舊し難く、復舊するも數日を機械の磨耗に費されれば作業に就くこと能はざるが故に、右諸工場に於ける製品は、少なからず、旬日の後にあらざれば市場に出すこと能はざるべしといふ、されば絶えず山の如くに堆く集れる各地よりの注文に對しても、如上の事情あるが爲めに、直ちに發送し得ざるを以て、自然その出荷も遅延すること已むを得ざるべしと信ず、是れ大方の豫め諒知あるべきことなりとす

香氣乃清香耐久は天下無敵



●香氣乃清香耐久は天下無敵 振替貯金一〇三九 電話四〇三九

●香氣乃清香耐久は天下無敵 然るに天候は恢復したるも、減水は、一週日を経るにあらざれば復舊し難く、復舊するも數日を機械の磨耗に費されれば作業に就くこと能はざるが故に、右諸工場に於ける製品は、少なからず、旬日の後にあらざれば市場に出すこと能はざるべしといふ、されば絶えず山の如くに堆く集れる各地よりの注文に對しても、如上の事情あるが爲めに、直ちに發送し得ざるを以て、自然その出荷も遅延すること已むを得ざるべしと信ず、是れ大方の豫め諒知あるべきことなりとす

此の時期に於ける化粧用品

●此の時期に於ける化粧用品 氣候の變遷に伴ひて、營業者は、各自その商品を提出して、これは何に適し、これは何に適するかを明かに社會に表示し、以て需要者に此の時期に於ける化粧品の選擇に便ならしめざるべからず、而してその表示の最も廣くして、最も世界に普及すべき方法は廣告なり、その廣告の最もこの目的に相當する機關は、當商報なりとは、獨り吾人の自負のみならず、營業者一同の公認して備からざる所なり、故に此の時期に於ける營業品を賣り換へんとするものは、當商報を利用せざるべからず、此の時期に於ける安心して用ふべき營業品を知らんとするものは、當商報を讀まざるべからず、而して此の時期に於て最も多く需要せらるる化粧用品を仕入れて、營業の擴大を願ふものは、實に當商報を購するべからず、

時評

●時評 石鹼に關してのみならず、各地に水害ありて函館に大火あり水火の責苦を受けたる日本國民は何時の世いかなる報いによ目こそ涙れぬと物價の暴騰には眼の玉を飛び出さしめられたり、



寄贈本

本日政府登録商標

東京市日本橋區馬喰町四丁目
發賣元 **山田篤三**

スミツク石験

粉と
煉製の
二種あり

石験スミツク

海上、口漢、津天 郎次富林小 阪大、京東

純白浮石

化粧用

日本特約店
小林富次郎

製造所
英國ホルトランド市
レバー兄弟商會

定價
大筒個 金拾五錢
小筒個 金八錢五厘
壹個續き 金貳拾貳錢
製造所 金貳拾貳錢

油香煉等高

HERRY-POMMA
TRADE MARK
HAT BROTHERS
PARIS

第四回帝國五二品評會に於て名譽金牌受領

高評石験

東京市日本橋區馬喰町四丁目
特約店
協田盛具堂
大和屋 小長衛
柳下藤五郎
佐々木 玄兵衛
森庄勘西吉

チアリートポマド

●畏 各宮殿下御用輸入元 東京 高橋

●毛髪を艶美ならしめ最も愛すべき花香を有す
●夏季に至ると腐敗の虞なく香氣持久の効あり

定價 二號卅錢
三號廿錢

高評石験

丸見名産石

輸入元
振興
高橋

無鉛

千代田おしろい

衛生と化粧とを完備せる進歩的おしろいにして無鉛無毒性なる事には内務省衛生試験所の證明せらるゝ處なり皮膚に最も有効なる特殊の劑料を配合せるを以て肌に乗りにくく寒さの時にも荒れる恐れなきが故にクリーム其他化粧下用の必要なき如何なる暑中と雖も剝れる憂なき濃化粧にも薄化粧にも自由自在にして白粉やけ日やけ等の恐れなきのみならず硫黄質の温泉場にて使用せらるゝも變化する事なし香料は最良の花香のみを選みたれば其優美なる香氣は恰も百花爛熳たる庭園に遊ぶの感あり

東京日本橋區馬喰町四丁目廿一番地

發賣元 (電話浪花三三九三) **山岸三之助**

特約大販賣 横山町 藤五郎 横山町 天野源七
關西代理店 大坂東區馬喰町 三三九三 小林三郎
大坂東區馬喰町 三三九三 小林三郎

定價
大筒每個 金拾五錢
小筒每個 金八錢五厘
壹個續き 金貳拾貳錢

ラツウ

東京市日本橋區馬喰町四丁目
高橋

硝子印刷

特別許諾

硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷

●硝子は各硝子製品販賣仕候へ共御都合御依頼印刷の御委託に御便利に御協裁可任御一報次第に御上仕候

●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷
●硝子印刷

壺

振替貯金
東京市日本橋區馬喰町三丁目
高橋

硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷
硝子印刷

カメリヤ洗粉

美顔は婦人の生命なり
一割減入
定價金十三錢

と或學者は唱へたり、獨り婦人のみならず美顔は人生最大の幸福にして何人も望む所... 如何にせば美顔たるを得るか... カメリヤ洗粉は最近の學理に基き皮膚に特効ある劑料を配合し所謂美身術に適應する最新の化粧粉なれば日やけを防ぎ色を白くし艶を増し肌を滑かならしむる特長を備ふるが故に夏期の化粧料として缺くべからざるものなり

●美術鑲入發賣... 量多く肌には効最著し

發賣元
日本東京日本橋區馬喰町四丁目
關西代理店 大坂東區馬喰町
小林富次郎

人

石香廊
クスムーゴート
元京發東
堂英日澤入

山田製
香油

新發明
石香廊
元京發東

各國大博覽會金牌受領
精製御用牌
古今
改正 質香
伊勢屋吉次郎謹製

かばやまきよりほか
小判石
東 京 東
本 局 特 一 三 四 一 二 五

新發明
香油
本舖 伊勢屋吉次郎

石香廊
新發明
香油

本店 東京市下谷區上町三丁目
西田嘉兵衛
系組組屋
西田支店

清國風俗の變化 (商人の注意を要す)
上海地方に於ける本邦製品の需要の如何を知らんとせば先づ支那人の習慣風俗の漸次變遷し來れる状態を知るの必要あり支那人の習慣は近來如何に變遷しつゝありやと云ふに第一には衣裳の形状なり從來男子の服装は腰より以下には袴と稱するダブダブとせし股引様のものを着し其外部には袴とて長き脚絆の如きものを纏ひ恰もタツツケ袴を穿たるが如くなりしもの近來袴子の仕立方を非常に細くし袴を穿たるもの多し或はスポンを以て之に代用するものすらあり腰より上の衣類は頗る袖長にして手頭より五六寸乃至七八寸あるを好しとせしに近來は次第に其袖を短くし一見西洋服の背廣の形状を爲すに至れり又女子の服装は腰部より以下に著する袴子の幅を非常に廣くし之に腰襷を取り其形状は恰も我女學生徒の式部袴に似たり之に加ふるに男子には往々襟子を掛けたるものあれば女子には毛織製の肩掛を用ふるものあり斯の如く其形状の變化せるのみならず其材料に於ても著しき變化を來し較前若くは綿地等新柄の絹及び綿布の流行を見るに至れり而して之に用ゆる絹布は主に本邦の西陣織及び芙蓉佛等より輸入するものにして獨逸製は其價格低廉なるも其質粗悪なりと云ひ英國製は其質堅固なるも技術精巧ならずと云ひ佛國製は其技術頗る精巧なるも品質薄弱なるか或は其價餘りに高しとの評あり現今中等社會に最も愛用せらるるは西陣織にして上流社會の要求するは佛國製の上等品なり絹布は米國より輸入するもの最も多しと雖も柄模様の無趣味なるが故に獨逸製に係る日本柄絹布最も流行界の需要を充し居れり又鞋は從來の絹織製を廢し革製のものを使用するもの多し其形は西洋の上鞋に似たるものなり靴も多きは編織の革製を用ふるに至れり帽子は本年よりバナマ製若しくは麥製を用ふるの傾向を生じ中流

清國輸出業者へ注意
本邦輸出業者にして清國へ輸出を試むる者對し特に注意すべき事項として在上海神戶税關關稅員官崎駿兒氏より農商務省へ到達せし報告に依れば内地商人より近來種々なる商品見本を送り來り對手者たる清國人の嗜好並に需要の如何或は取引方法等に就き其調査方を依頼する向きは夥しき由なるを在々其委託手續等を説くが爲め遂には其目的を果さざるのみならず調査を爲すを得ざることある趣にて右に關しては第一商品の見本を送り其販賣方を依頼せんとするものは其製造商即ち注文ありし場合何日間を以て何程の需用に應じ得べきやを明記するを要し第二に何百打何千打を以て一箱又は一包となるかを記載せれば相場場の算定に標準立たす第三に運賃と保險料等を通知し置かざれば荷主と是等會社の間に特約する場合に差支を生じ第四に引渡場所を定める事を要す商品の引渡場所は取引相互

直上廣告
本目ヨリ百枚ニ付總て 貳拾五錢
直上ゲ
明治四拾年 八月 日
赤六櫛組合

祝鶴石
元京發東
堂英日澤入

大 糸
平治森藤
元京發東
堂英日澤入



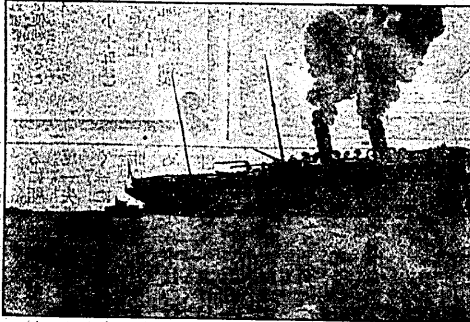
御聲のくせなきし一名美男佳
東京市京橋區銀座三丁目
かつら松澤商店
賣捌は各小間物店賣樂店

袋物問屋
特別製造
紙幣入類
銀貨入類
煙草入類
千代田袋類
御守巾着類
金具付帶類
流行品 各種
意匠品 各種
其の他袋物一式
右各種大勉強仕候間多少
共御用命願上候
但し前金を要せし御聲の事
東京市京橋區三丁目十四番地
製造元
電話浪花(二二〇四番番番)

歐米巡遊 (その十七)
本組合理事 佐々木文兵衛君談

日本と米大陸との間を連絡する太平洋航路は、大別すると四線になります。一が、バンクーバー横濱間、二がシヤトル横濱間、三が桑港横濱間、四がタコマ横濱間です。私はバンクーバー横濱間の航路を取りました。

一體太平洋航路を取って旅行しましたのが、後に太平洋を航海しますと、東海岸の鐵道旅行をしたものが、後で前に日本の鐵道を旅行するやうに、船の小さいこと設備の舊式なこと旅客の種類が劣等なことなど、主な相違點を發見するのであります併し此の如き相違があると同時に太平洋航路のやうに、餘り豪華を競ふやうなことがなく、極めて實業に、極めて普通に通に旅行する上に「旅道連れ」といふ諸君のやうに、滿船の旅客は、何れも相互に親密になるといふ、喜ばしい好ましい傾向を有して居ります。これは最も深い理由があるのではありません。太平洋の旅客は、半數以上が商業上の用務等の爲めにする旅行であつて、純粹の漫遊客は比較的少ないのです。而して極少ない種類に屬する旅客でも、太平洋航路に於ては、何れも豪華なものであるものが多いので、隨つて太平洋航路に比べて、一大相違點が生ずるのであります。



後、於て二十一日と六時間に到着するやうになつて、交通の便は益々發達して来るのであります。この線は他の線に比べて、北の方に偏つて居ますから、十月頃でも既に非常の寒さを感じるのです。それから船上生活の状態いかんは、何れの航路も大差がありませんから、こゝにはすべて省略すること、しまして最終に此の線に於ける特色を挙げませうなら、日本人に對する待遇の宜しいこと、速力が速いこと、船の設備が比較的整頓して居ること等でありませう。

以上で私が歐米を巡遊しました所の感想を概略ながら御話致した積りでございますが、何れもいつても僅々の日子を以て巡遊したこととすべからず、未だ徹底する程の觀察は、至極便利なこと、信するのであります。

東京勸業博覽會に於て賜一等賞牌
陸海シカゴ
美印は必がま
御用みやげ
本舖 東京 安藤 井筒堂 關西代理店 大阪 藤森源之助
發賣 專賣特許 美術鑑入
紳士淑女

容貌美御料カスガオイル
煉香油ハ毛髮ヲ發育チ助ケ髮質元東京ノ特功顯業也
小川湖華園
すみれ
同角大 八角大 同角大 同角大
同角大 同角大 同角大 同角大
同角大 同角大 同角大 同角大
同角大 同角大 同角大 同角大
同角大 同角大 同角大 同角大

Camel Musk Soap
ラダ印麝香石鹼ハ高貴なる麝香ニ
愛すべきスミレノ香料を多量に含む
が故一度使用せば其香を氣身身に
元より手拭毛糸
ハンカチトス
及び浴後のゆめくすくすを返りつり
香いたし五日間も纏都として
わたりと夫ははる一日持古を有す
廉低格買 保永香芳 良善質品
日三町石本(元賣發)區橋本日京東
衛兵太上井
Camel Musk Soap



東京市青山
千歳元結本舗
三河屋勇三郎
電話新二二〇番
電話舊二二〇番
電報掛號(221)

針問屋
東京市大傳馬町二丁目
住吉屋
上田長右衛門

革葺入各種
煙管筒各種
前金物各種
銀貨入各種

日本橋區通町七番地
大和屋號
西山廣太郎
電話花三九〇二番

選げられず、随つて話したこともない、猶
んだ一口に過ぎないのではあります、
併し主要な點は漏れなく挙げたいと思ひます
ので、若し歐米に志す方がありまして、こ
の巡遊談を參考とせられ、幾分の利益に
もなるやうなことがありましたならば、か
くの私の最も光榮として欣賞に堪へぬ所
のことと存じます。



氏衛兵支木々佐の後朝藤

この此の語の結末を附するに當り、本
年一月一日から本日まで、貴重なる紙面を
押しましたことを諸君に謝するに、も
私をして十分に言ひ得せられた好意に對
して、深く感謝するものであります、茲
に謹んで謝辭を述べ、而して諸君の健康を
祝福します。

讀者の聲

歐米巡遊する
讀者の聲
本紙が佐々木氏の歐米巡遊談を掲ぐるや各
地の讀者諸君より書きて之れが批判を
試みるもの希望を申送るもの等多く一々之
を登載し難きより一に省略に從ひたるが中
にも在歐洲米國等の讀者より氏の觀察が細
密に微を盡てるものあるに敬服し多年同
地にありて而かも心付かざる點の多々あり
しは一に燈臺下暗しの影に漏れざるものな
りとして謝辭を述べ來れるものも少なからざ
りしが如きは確かに氏の高談をしてその眞
價を發揮せしむることの多大なることを信
ずるものなり茲に本稿の完結を機として一言
を附記して眞價の那邊にあるかを明かにす
ると云爾。

王霸之磨齒的歩進

磨齒

目下五湖麗高 園香芳野矢 市阪大舖本

色白く艶をだす最良の化粧石鹼

松澤ホーサン石鹼

目下四町石本京東
屋間種藥香芳
舖本水香クスム
吉常澤松

開花スルク石鹼

特約店 (Sは原)

日本橋區横山町三丁目
小石川製粉町
原町三丁目
横山町三丁目
神田區横山町一丁目
横山町三丁目
横山町三丁目
原町三丁目

佐々木 天丸 松柳 田花 脇田 松盛 眞
野野 善井 下中 藤花 樂五 眞
々々 野野 號藤 支五 王
木木 小源 商支 五王
衛衛 兵兵 衛衛 七店 店堂 堂

白ゆり

本舖 井手瑞香堂

白ゆり白粉は東京朝日
萬載報其他全國新聞に
記載せられたる通新開
品及び本邦有名なる舶來
品四十四種に付有る衛生
試驗所の試験に於て無
毒と認められたる第一位
白粉たる最良の衛生品
白ゆり白粉は東都製園
花たる芝衛、梅幸、高麗
藏左衛門諸氏の常に
賞用せらる

進歩銀牌受領

石鹼

市内特約店

丸見屋商店 柳下藤五郎
平尾 贊平 佐野 小五郎
田中 吉兵衛 淺井 支店
仲 徳次郎
脇田 盛貞堂 齋藤 吉次郎
天野 磯五郎 齋藤 鐵太郎
長瀬 富郎 大野 金五郎



美容

大和屋 小兵衛
山崎 盛眞堂
同 藤田 友七
同 花王 堂
同 小林 支店
同 天保 安藤 井前堂
同 谷 健次郎
同 東京 市 神田 區 和 橋 町 三 丁目 一 番 地

日本橋區 山崎町 二丁目
大和屋 小兵衛
山崎 盛眞堂
同 藤田 友七
同 花王 堂
同 小林 支店
同 天保 安藤 井前堂
同 谷 健次郎
同 東京 市 神田 區 和 橋 町 三 丁目 一 番 地

本香油は品質の善良、香気の優雅なる、世上幾多の香油の比にあらず、交際社會に活躍する紳士貴夫人令嬢は一日も欠くべからざる逸品なり

定價 大樽 四十五錢
中樽 二十五錢
小樽 十二錢

東上野 廣小路
本舖 **山崎屋油店**
(電話 二七三三)

日本橋區 山崎町 二丁目
大和屋 小兵衛
山崎 盛眞堂
同 藤田 友七
同 花王 堂
同 小林 支店
同 天保 安藤 井前堂
同 谷 健次郎
同 東京 市 神田 區 和 橋 町 三 丁目 一 番 地



美容

大和屋 小兵衛
山崎 盛眞堂
同 藤田 友七
同 花王 堂
同 小林 支店
同 天保 安藤 井前堂
同 谷 健次郎
同 東京 市 神田 區 和 橋 町 三 丁目 一 番 地

本銀洋白鋼簪類
指環 根掛類
髮飾 附屬品

東京日本橋區若船町四番地
村上伊太郎

高等高油
紳士貴婦人用

高橋東堂
高橋初平
高橋元次郎

木桶筋立すき櫛
製造卸賣大勉強

大阪市南久寶寺町貳丁目
萬木櫛屋
かなめや 要彌三郎

化粧品業者と化粧法の研究

本組理事 三輪善兵衛君談

流燈會の由来

本月九日から三日間隅田川河面を遊行した流燈會は、鹽田翁の古稀壽筵のときに餘興として寄贈する考でしたが、準備の間に合なかつた爲めに延期したので、こんな運河に運りましたが、一體彼は私の宿志で何か隅田川で興味のある催しをして、帝都の人々が納涼の資に供せん考であつたのが偶と思ひ付いた流燈會で、名にし負ふ古歌に因んで、昔もあつたといふ都鳥の形をして燈籠を流すことになりましたが、之に就てはかの芳香學大家の長谷部さんに相談しましたら、流燈會には何か追善の意味が含まれて居るのが例で、業平忌などの先例もあるからといはれ、一層のこゝ明治元年以來の物故御褒の追善としては如何とお理由は、長谷部氏が發明した「御園白粉」の隆盛なる今日を致したのも、畢竟は最も多く白粉を使用する俳優の御毒問題から起つたことで、長谷部氏をして此の大發明を致させたのも、一に故市川團圓、中村芝翫、市川新藏などの名優が、要求し試用した結果であるといふ緣故から、之を「御園白粉」の權しとするが宜からうといふ處から、之を胡蝶園に相談すると、早速同意したので長谷部さんと胡蝶園と私が主催者となりましたのを、各新聞社の方大に同情を表して賛成せられ、演藝俱樂部が賛助としてよしの開催することになったのであります

俳優化粧

とは深い緣故があるといふに、化粧品と俳優との關係は、極めて密接なものであります、今の人々は之を冷淡に看過して居るやうに思はれるのであります、元來日本の化粧品は中古に於て最も發達普及したので、現に男子までが白粉を塗り、かねを塗は、紅を施して居たのも知れず、それによつて降るに隨つて、漸次に化粧が亂れて来たのは、かの中古に於ては、主として素顔の化粧

を重んじたに反し、今日ではこんな心掛けのものではなく單に紅や白粉の化粧品を以て顔は白壁の如く、口は鬼口のやうにすれば化粧の能事は果れりといふ風であります、化粧本来の目的が、そんなものでないのに、たゞ「コテ」を塗り立てるのを能事として居ますのは、何たる失態でありませう、一體化粧と一口にいひますと、化粧品を以て美しく飾り立てるといふ事に過ぎませんが、その美しく飾り立てるといふことは一概にいへないので、その人の風采を鏡に應じてそれと相違があつて、誰でも彼でも同様に施すことは出来ないので、そこで化粧法といふものが起るのであります、前にもいひました通り化粧といふことが發達した中古時代から、徳川氏の近古時代に於て完成せられたものが、維新後になつて一時化粧法の革新とともに衰微して、今日漸くその必要が認められるやうになつたので、今は所謂化粧の過渡時代でありますから、何でも完全したものはありません、その完全なるものをいへば、中古近古に行はれた化粧から研究せねばならぬのですがそれは今となつては詳しく知ることが出来ません、それに化粧には「素顔の化粧」と「舞臺の化粧」との二つがありまして、二つを一つにするのは出来ませんが、今では「素顔の化粧」を研究するのには、素顔の化粧そのものを研究する便宜がありませんから素顔の化粧から切り出された「舞臺化粧」を標準として、研究し進めねばならぬのでありますから、先づ今日の化粧を研究するには、俳優の化粧法に一顧せねばならぬので、俳優化粧が深い緣故があるといふに、化粧品業者が完全な化粧に要する完全な化粧品を供給する上に於て、離るることの出来ぬ關係が生じて来るのであります、將た然らば俳優の化粧はいかにするか、將た又いかに素顔の化粧を施すべきかの問題に就ては、更に號を代へて申しまさう

景品附八月三十日限切

大野金城堂

白政本白

自妙ムスク石鹼

鹿



鹿はみがきは煉と粉の二種あり品質は衛生家の最も賞賛せらるゝ處なり

本舖東京 長瀬 富郎

トラムスノ石鹼

製法完全にして衛生に適し一度本品を使用する人の永く忘るゝ能はざる非凡の特質を有する石鹼なり

東京 井浅 支店



製造元 中島花蝶園
東洋各埠均有代售
東京淺草區旗本町二丁目
製造元
平尾龍三
佐々木善兵衛
森本支店

製造品廣告

花王あらい粉 價五錢
めさまし 齒磨 價二錢
ツキビシン白粉 價廿二錢

百猫おしろい 價廿五錢
ピンクオイル 價廿五錢
オハラくせ直し 價五錢

花ムスク石鹼 價二十錢
ツキビシン洗粉 價八錢

薄荷油 價五錢
薄荷腦 價五錢

小林桂助
東京市太田町二丁目



小賣業大店舗 (本報)

大 規 模

小賣大店舗は商業の自由、技術、并に交通發達に伴ひ起りたる集中の現象の一端過ぎざるも、尙細かに之を見れば、其の集中を助長したる原因二つあり、(1) 社會一般の需要發達による、(2) 通信并に各地の運送等の發達なり、歐洲に於て十九世紀の中期より流行の變遷は、漸次烈しく外觀の美麗なる品物の販賣を増す傾向を呈したるは争ふべからざる事實なり故に廣告其の方法にて華客の購買心を誘起し、一時に多額の商品を販賣するの目的たる大經營法は漸次隆盛するに至れり、又た近來交通大に發達し、郵便電信電話等の便普及するに至り、或は運賃又は印刷物の低廉を期し、遂に現今のモール、オートタービネスなる特殊の經營を見るに至れり現今大經營の最も盛にして最も成功せるは(1) 米國にして、中にもニューヨーク、シカゴ、ヒラデルヒヤ等にあるもの有名なるも、殊にシカゴのマンヤル、ヒールトアンド、コンパニーは最も有名なるものにして、其使用人僅に一萬人に上ると云ふ、(2) 英國殊にロンドンのホワイトレイは亦た有名にして、千九百一年には已に五千人の使用人を有す、(3) 獨逸ベルリンのキルティンと云ふは、最も大なるものにして、其使用人八千人以上に超ゆると云ふ、此等は其の最も盛なるものに過ぎざるも其他數へ来れば、殆んど枚擧に遑あらず小賣大經營は其の組織の大なる點に於て其の範圍の廣大なる點に於て、消費組合と稱する如く見ゆるも然らず、小賣大經營と消費組合との利害得失小賣大經營は前述の如く、華客の購買心を誘起し、大規模に多額の商品を販賣するを旨とするを以て、彼の消費組合とは共に相容れざるもの性質を有するものにして、其の主たるものを見れば、

此の時期に於ける化粧品

氣候の變遷に伴ひ人間身體の變化は、いふまでもなく大なるものなるが、中にも皮膚毛髮の自然的作用は、寒暑更替によりて、新陳代謝して已むことなきより、人生に於て最も注意すべきは、氣候の變遷時期にして衛生上注意すべきは勿論なるものに、化粧の上にも、亦忽がせにすべからざる必要あり、されば暑さ過ぎ夏去りて、いと涼しき秋風の立ち初めたる今日此頃、いかにしてこの變遷に適すべきか、此の時期に於ける化粧は、いかにして施すべきか、之を衛生の上より考へ、之を自己の身體いかに容れ、いかに化粧品を以てすべきか、いかなる化粧品が自己に適し、化粧に適するかを知るべきべからず、

一 隨 ノ 水 粧 化 シ セ 步 進

造製郎富瀬長 舗本醜石王花 町喰馬京東

香水印 (中瓶六十五錢) 小瓶二十五錢

ムスク香水 本品の特色は芳香の永く保つ點に於て頗る高評也

本店 東京市太田町二丁目 小林桂助

分店 東京市本郷区大塚 廣尾 東京市文京区湯島 廣尾

TRADE MARK

花王 齒磨

本店 東京市本郷区大塚 廣尾

意匠改正優美

右之直段を以て販賣致候間御希望の各位は
壹錢五厘郵券全價格御郵送を乞ふ。但郵券
御送附なき注文は發送致さず爲念申述置候
發賣 東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

出荷迅速薄利大勉強

煙管

貴金銀製
赤銅製
銀白製
洋白製
真鍮製
銅製
二重製
懷中用
其他各種

東京市神田區南門外
山崎兄弟商會

氣分を爽快ならしめ

口中を潤し酸郁たる芳香を放つ

THE GEM
懐中薬
ムゼ

支店 東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

最近流行の女鬘

女鬘結 戸根あいの話

△髪の種類 顔の細面の人になるべく髪を
フックリ出した方が宜うござりますが肥つ
た方や丸顔の人はフックラせぬ様に出しま
せんと顔は可笑しく見えます併しそれも流
行股は別として先づ髪結の手に任せて置
く方が無難だらうと存じます左うへすれ
ば髪結は決して其人に不似合のやうには結
ひません夫れから瘦せた方でも肥つた方
も前髪と髪の間は成る可くフックラす方が
も好く殊に毛が多く見えるやうでございま
す

都花丸

天下一品
自給のたま

支店

東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

本舗 大阪府東区南船場 松井號

支店 東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

△髪を掻き方 髪は生へ形の好い悪いに拘
はらず生へ際を出さないのが好いので御座
います、頭の太い人は髪尻へ櫛を入れた
髪を掻ける様に掻きますと首筋が細く見え
併し頸筋の細過ぎる人は病人々々して格好
が惡う御座いますから是れも左う見えない
やうな工夫をしなければなりません一體女
は襟首から肩へ掛けての形が花で御座いま
す申し替へれば髪尻から髪先迄に味があ
るのですから髪結も此處に重きを置いて買
ひ度いと存じます全く髪結の好し悪しは其人
の姿の好し悪しの過半を支配しますもので
前の方は御自分に見えますから御勝手に
直しなると出ますから髪結の方は左う
参りませんから髪結は一入そこに注意し
て上げねばならないと存じます

△髪直し 女の髪は命から二番目の大
切な物で何方でも髪を好くならうと
思召さないものはございませぬ、左れば
こそ種々の薬や油などを御用ひにならうと
如何も利目が薄いやうで御座います、と
いふのは癖が中々直りませぬ何んでも直
しは水は不可ませぬ、成る可く湯を熱く沸
かしてそれを湯山に用ひたいので御座いま
す、普通通の方でも直しの命置と云ひま
す、小さい金盥でも直りませぬ、夫れ
ですから十分熱湯を十分に通ひませぬと
れませぬ熱湯を十分に通ひませぬと毛の艶
も好くなりませぬ髪を起さすか

△頭の形 人によつて結び好い頭と結び悪
い頭とございませぬ頭が大きい俗に南瓜頭
の、頭の高い頭だの夫れから木角頭だのは
結び好う御座います、巾着頭と申て後
ろの平らになつて居る頭は何うも形が惡う
御座います併し夫れを形を宜く結びますの
が髪結の腕なので唯だ結ぶだけなれば誰れ
でも遊れます

△東京と大阪の髪形の異つて居る事は
何方も御存じで居らつしやるのですが大阪
では水油、固油を湯山に用ひますから油の
爲めに毛が自由になりませぬ東京では餘
り之を用ひませぬそれは油を用ひるのは野
暮だ殊に夏向きは髪が臭いと不可なりと云
ふので生粋な人は油を用ひない位で御
座いますから結ぶ方では毛がバラクして
誠に結び悪う御座います、油を用ひる方
の人と申しても結び上げてから後れ毛の下
のを止める爲めに僅かに梳油を人差指へ附
けて用ひる位で御座います、大阪の髪は
水油、鬘油、梳油と是等をコテク用ひま
すから結び立てはテテくして油が垂れさ
うで御座います夫れから今日は油を附けず
に結んで呉れと云ふのが固油の鬘油、梳油を
附けない事で矢張り水油は用ひるので御座
います

藝子島田

是は俗に藝子と申して極粋な頭で其結び方
は鬘の根をグット下げて一を引立てる
ので御座います、夫れから前髪も其通りで御
座います、髪は根が下りますから夫れに釣合
ふ様にスット上へ附かせんと可笑しくな
ります、髪も成る丈け餘計に出しませんと
形が附きませぬ、前髪は其人の好々に依り
ます、此頭は當時の流行に取つたので御座
いますから、夫れ横から見ますと斯う云ふ
形になるので御座います

貴婦人用 力梅香

小瓶十錢 中瓶十五錢 大瓶二十錢 別大卅五錢

東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

羊ムスク后餘

東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

東京博覽會紀念發賣

ウツラ石鹸

芳香原料商

白粉 香油 齒粉 洗滌 皂用 香水 石鹼 齒粉 香油 齒粉 洗滌 皂用 香水 石鹼

東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

丸見屋商店

最新東髪前髪じん

丸見屋商店

東京市神田區南門外 山崎兄弟商會

人

特約店 (さるは順)

日本橋區山町三丁目
馬車町三丁目
横山町三丁目
神田區橋本町二丁目
橋本町二丁目
橋本町三丁目
橋本町四丁目
橋本町五丁目
馬車町二丁目
馬車町三丁目
馬車町四丁目
横濱市平沼二丁目

錦白平佐佐天松柳田脇
川尾野野井下中田
木菊善野號藤花盛
商王贊玄兵衛源支五王眞
店堂平衛七店店郎堂堂

香水
永も香芳
元膏發京東
堂洋太岡中



化粧石鹼
化粧用

(供子ひろこね番八十八百)

最新流行 開花香油
貴婦人用 開花香油
毛髮の發育を助け匂ひよくさらさらとしてよき艶を出す

開花マスキ石鹼本舖
岡崎屋市太郎
(電話渡在 三〇七九)

最新流行 開花香油
貴婦人用 開花香油
毛髮の發育を助け匂ひよくさらさらとしてよき艶を出す

東東京東兩國 岡崎屋市太郎
(電話渡在 三〇七九)

壽美禮 かしらい
壽美禮水 かしらい

すみれ白粉は益々愛顧諸君の賞賛を博し時世の進歩に伴ひ日新改善の方針を探り弊店獨特の化學的炭水素の新成續體と之に歐米に於て専ら流行せる最新香料を加へ配劑しあれば白粉の特性として毫も間然する所なく能く顔膚を艶美ならしめ天然の麗質を害す事なく殊に高難なる芳香は餘郁として長時間保續するの性があるが故に宴會祝席等雜踏の場所に臨みて衛生上有効の逸品なり

一等賞牌を受領す

羽車石鹼
化粧衛生 經濟 蒸備ス
東京神田區神保町
東京神田區神保町
電話渡在二二一〇

此美人洗髮印高等御
髮洗粉は化學應用の
原料に高等の芳香劑を
配合精製したる世界
無類の珍品なり

定價 大一袋 壹錢
小一袋 五厘

發行所 小 七十五十入
東京馬車町三丁目
板橋百花堂

大工場 各鑛山 應急工 アルボース

洗粉 純良 亦褒状

大工場 各鑛山 應急工 アルボース

洗粉 純良 亦褒状

此他販賣所は全國各地小間物店化粧店等にあ

特約大販賣

大平佐淺福天松九山柳大中長玉武田田脇
井野澤見下柳田瀨置井中
野屋藤下藤田支富金龍定王眞
衛兵五兵衛三郎衛店郎八三七堂堂

一等賞牌を受領す

羽車石鹼
化粧衛生 經濟 蒸備ス
東京神田區神保町
東京神田區神保町
電話渡在二二一〇

製造本舖 伊勢吉壽美禮堂謹製

東東京東兩國元町(兩國橋際)

井上太兵衛 岡崎屋市太郎
堀井長兵衛 同
萬屋金五郎 同
中花王三 同
武井龍三 同
山田眞三 同
柳下藤五郎 同
同馬車町一丁目 同
同馬車町一丁目 同

大阪博愛町二丁目
長岡清助 名古屋市中區
鏡屋正七 名古屋市中區
村上庄哲 大木市

代理店 小 林 支 店
京都市中區通隆上 長岡清助 名古屋市中區
名古市市七

斯の如き提供は又存らざる可し!!!

(地方同業者各位に急告)

火雲西に流れて奇峰忽ち没し炎帝去つて涼颼起り節は清爽快潤の時に入りて人は雄健康壯の氣となる弊店此の時に際して我ローヤル水販賣の第三期擴張の途に登らんとす。

擴張の方法

東京大阪名古屋等大都市の大新聞は勿論全國に亘りて其有數の者百を撰で弊店獨特の佐々木式廣告を掲載す右廣告に各地販賣店各位の御芳名を掲ぐ、但全國に亘れる販賣店各位の御芳名中或は之を逸するの恐あれば之を避くる爲め今回の廣告掲載の芳名は本月十日迄に佐々木商店廣告係宛營業處店名御通知の各位にのみ止む

貴

酬

御芳名御通報の勞に酬る爲め廣告用品を無料提供す(但送料廿四錢は御申込者の御負擔のこと)

- 一口ーヤル水 見本豆瓶 五十本
- 一口ーヤル水 美術小看板 一枚
- 一口ーヤル水 フラフ 一枚
- 一口ーヤル白粉 フラフ 一枚

注

意

此の御申込は必らず直接佐々木商店廣告係へ宛られたし然らざれば掲載漏れの恐あり

明治四十年八月

東京銀座

佐々木商店

代理店及特約店氏名

- | | | | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------|----------|-----------|--------|---------|
| 關西代理店 大阪伊藤仁壽堂分店 | 北海道代理店 名古屋村瀬谷三郎 | 函館區 新野田商店 | 小樽區 秋野商店 | 東京 大和屋小兵衛 | 同 脇田商店 | 同 田中花王堂 |
|-----------------|-----------------|-----------|----------|-----------|--------|---------|

- | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京 天野源七 | 同 柳下藤五郎 | 同 丸見屋孫八 | 同 廣田合名會社 | 同 大木甚藏 | 同 福井金八 | 同 玉置甚八 | 同 小倉支店 | 同 角倉支店 | 同 伊藤朝日堂 |
|---------|---------|---------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|

- | | | | | | | | | |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大阪 石田商店 | 同 原田久 | 同 仁壽堂 | 同 西島兼商 | 同 大倉盛進 | 同 小川支店 | 同 山本支店 | 同 冬野支店 | 同 平田花堂 |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

東京市日本橋區馬喰町二丁目十九番地 毎月一日、十一日、二十日、三回發行 五錢 五錢 拾九字 諸君行意同金式拾錢 印刷所 東京(四) 文



宮中の御化粧品と女官

日本宮中の女官(紅紫ノ典侍)の方々を始め東宮御所の女官皇孫御殿の女官の方々は日常御身を清めさせらるゝにクララ洗粉を以て尤も適當なりと賞せられ本年四月廿六日第一回の御用を三越吳服店へ賜はり其後八月十六日迄の御用数千回に及ぶ

外國婦人が信用せる化粧品

英國大使マクドナルト伯爵令夫人は日本のクララ洗粉を以て外國製の石鹼よりも良品なりと賞し東京津村の手を経て日常盛んに愛用せられつゝあり

將軍の令夫人と三越吳服店

三越吳服店の手を経て有名な東郷大將軍閣下の令夫人及び黒木大將軍閣下の令夫人並に令嬢の君は廿九年八月頃よりクララ洗粉の熱心なる愛用家にして其の重き賞讃は貴婦人間にクララ洗粉の大流行を現はす所以となれり

日本最高の女學校と大新聞

信用ある東京時事新報社は本年七月クララ洗粉を石鹼以上の良品と認め毛利公鍋島侯の兩家及び華族女學校學監下田歌子女史を始め各華族の生徒方に寄贈せられ今やクララ洗粉は日本貴族の厚き信用と愛用を重ねるに至れり

風光と人物

風光の明媚、山紫水明の雅趣を備ふるの國、世界は廣しと雖も、扶桑日出づるの大帝國に及ぶものなしとは、世界漫遊客の口にして懼からざる所なれど、而かも蜿蜒たる長蛇の地形、四方環海の一孤島之を歐



米國の國風光

米大陸のそれに比して、規模の大小、地域の廣狹を問はずは抑も迂なり、人はいふ、風光明媚なるは之れあり、山紫水明は之れあり、而かもその規模の小なる、宛として一小箱庭の觀あるは、たゞく以て大なる人を出し得ざるの理由とならんと、然れども是れ皮相の迂論のみ、地氣の人を感化することとは之れあらん、而かも之れが爲めに人

特別廣告
當商報の廣告を見て廣告主に御照會相成候節は乍御手數書面中へ
「東京小間物化粧品商報」
紙上にて御覽に相成候旨必ず御附記被成下候様願上候

郵便宛名の義に付急告
拙者姓名鈴木新吉と同姓同名の人當町に數人有之爲めに郵便物の混同を來たし誤配延達等双方の迷惑申す可からず候に付爾後弊店へ郵便御差出の節は必ず「萬新商店」度奉希上候
東京市日本橋區馬喰町三丁目十二番地
ゴールドローズ白粉發賣元
小間物御商 萬新商店
鈴木新吉
電話貯金三三五三番
長電話花二八五五番

東博業勸會 銅牌受領
於東京市神田區山手町一丁目
池田平三郎
式一物臺
三新

内務省衛生試驗所無害御試驗濟藥學士先生方之御證明
貴婦人 登錄 商標 姫かつら髮洗粉 定價 小入 壹錢 紳士用 大入 貳錢
土泥や砂石と違ひ毛髮に効驗ある玉子とよのり以上に優る毛根に勢力を與へ益を延長し脆麗ならしむ衛生の神髓を穿ちたる美髮美術術なり
製造元 東京市神田區山手町一丁目 池田平三郎

斯の如き提供は又有らざる可し!!!

(地方同業者各位に急告)

火雲西に流れて奇峰忽ち没し、炎帝去つて涼颼起り。節は清爽快澗の時に入りて、人は雄健康壯の氣となる。弊店此の時に際して、我ローヤル水販賣の第二期擴張の途に登らんとす。

擴張の方法

東京大阪名古屋等大都市の大新聞は勿論全國に亘りて其有数の者百を撰で弊店獨特の佐々木式廣告を掲載す。右廣告に各地販賣店各位の御芳名を掲ぐ、但全國に亘れる販賣店各位の御芳名中或は之を逸するの恐あれば之を避くる爲め今回の廣告掲載の芳名は本月十日迄に佐々木商店廣告係宛營業處店名御通知の各位にのみ止む。

貴酬

御芳名御通報の勞に酬る爲め廣告用品を無料提供す(但送料廿四錢は御申込者の御負擔のこと)

- 一ローヤル水 見本豆瓶 五十本 一ローヤル水 フラフ 一枚
- 一ローヤル水 美術小看板 一枚 一ローヤル白粉 フラフ 一枚

注意

此の御申込は必ず直接佐々木商店廣告係へ宛られたし然らざれば掲載漏れの恐あり

明治四十年九月

東京銀座

佐々木商店

代理店及特約店氏名

- 關西代理店 大阪 伊藤仁壽堂分店
- 中央代理店 名古屋 村瀬谷三郎
- 北海道代理店 函館區 新野田商店
- 小樽區 秋野商店
- 臺灣代理店 臺北城內 高島鈴三郎
- 橫濱代理店 戶部 商店
- 特約店 東京 大和屋 小兵衛

- 東京 脇田商店
- 田中花王
- 天野源
- 柳下藤五郎
- 丸見屋商
- 廣田合會
- 大木名社
- 福井甚藏
- 玉置金八
- 小林支店
- 角倉支店

- 大阪 伊藤朝日堂
- 石田東久
- 原壽堂
- 仁木商
- 西島兼
- 大倉屋商
- 小川盛進
- 山本支
- 冬野
- 平田松花堂



ローヤル煉白粉の通り値上改正致し候

ローヤル煉白粉

大五十〇新製

同 中廿〇(舊十五〇)

同 小十五〇(同十〇)

御直段 七掛

Vertical text on the left margin: 佐々木商店 東京銀座

豫望大博覽會

四十五年前に開かせるべき日本大博覽會に對して吾人が希望せる大々的規畫は、該博覽會として、外觀形式の大博覽會たるに終らざり、必ず内容實質に於て大々的ならしむるべし、蓋し論議し置きたる如く、なるが、尙ほその所謂大なるものを認めんとするに、必ず大なるものを認め得らざる限り、いかに止めずして、大なるものを持ち來らざるべからざるなり、と、大なるもの、來り易き方法を執るの急務なることを思はざるべからず、

古語に之れあり、水漬ければ大魚なしと又曰く、細網に大魚入らずと、苟くも大なるものを致さんとは、區々たる繁文縷縷の爲めに、出品人をしてその類に堪へざらしめ、所謂刀筆の小吏たる本音を吹き込むが如きごとく、何處までも大なるものを教すに便する途を講じ、大博覽會の大なる點を實現せんことを望むものなり、

而してその之を實行するの途いかにといは、吾人は東京勸業博覽會が示したる殷鑒の甚だ近きあることを以てせんと思ふものなり、東京勸業博覽會が當初の豫期に反したる點を察ししものは、各種の事業設計の缺點のみは止まらずして、一體に不完全なりしが故なり、即ち博覽會として内容が甚だ乏しかりし由らずんば、いかにしなむ、その内容の乏しかりしは、出品者の側に於ても、當局者の側に於ても互に博覽會なるものにならざるが如く知らざるものありしに由るならん、而も其の原因は一に場敷割の配當が、出品人の實力と出品物の性質とに照らさず、出陳區域の廣狹が出品物の實力とに相應するべしとの考慮なきが故に由るものなり、

是れ實に博覽會そのもの外觀を毀損するのみならず、内容に於ても少なからざる障礙を加へられたるものなり、

その如此失態を生ずる所以のものいかんを究むれば、要するに當局者が各種業界の事情に通達せず、各種業界の性質を辨別せず、隨てその陳列の意匠、裝飾の考案等の推察なく、或一定の曲尺を當て、此の品は何程なるが故に何尺を要す、一にその出陳物の容積を標準として、未だその商品の性質に思ひ及ばず、是を以て容積は小なるも、裝飾陳列の意匠を凝すにあらざれば、出陳の目的を達すること能はざるもの、如きは、爲めに當初の大々的規畫を變更し、必ならず不満足なる出陳に泣き入りざるを得ず、その結果は九尺二間の長屋に應接し、左の報告ありたり、

組合録事

○九月二日 組合新加盟者
住 所 本郷區根津八重町六十番地
商 號 奈良梅香堂
氏 名 奈良茂登君
右新規加盟せられたるを以て組合員名簿へ登録す

○同日 午後六時より事務所にて博覽會委員會を開き來る十日午後一時より事務所にて總會を開き博覽會出品飾物及附屬品一切を即時競賣に付するの件を議するに決す次で組合賣店擔當人河田政治郎氏より左の報告ありたり

東京小間物化粧品商組合
賣店收支決算報告

支 出

- 一 金壹萬四千七百四拾七拾參錢五厘
- 二 金壹萬參千七百拾四圓七拾參錢五厘
- 三 金貳百貳拾圓
- 四 金貳百貳拾圓
- 五 金貳百貳拾圓
- 六 金貳百貳拾圓
- 七 金貳百貳拾圓
- 八 金貳百貳拾圓
- 九 金貳百貳拾圓
- 十 金貳百貳拾圓

收 入

- 一 金壹萬四千七百四拾七拾參錢五厘
- 二 金壹萬參千七百拾四圓七拾參錢五厘
- 三 金貳百貳拾圓
- 四 金貳百貳拾圓
- 五 金貳百貳拾圓
- 六 金貳百貳拾圓
- 七 金貳百貳拾圓
- 八 金貳百貳拾圓
- 九 金貳百貳拾圓
- 十 金貳百貳拾圓

大博覽會と米紙

東部特約東京小間物化粧品商組合各店
大博覽會と米紙

米紙は本邦無類の白粉の中の白紙にして品質の純良なる意匠の新奇なる品にして、且つ其の價値の廉宜なるは、尙ほ其の優點を述べざるべからざるなり、

米紙の産地は、本邦の中部、南部に於て、且つ其の生産の多きは、本邦の中部、南部に於て、且つ其の生産の多きは、本邦の中部、南部に於て、

大博覽會と京城經濟界

大博覽會と京城經濟界

大博覽會は、京城の經濟界に於て、一、大なるもの、來り易き方法を執るの急務なることを思はざるべからず、

大博覽會は、京城の經濟界に於て、一、大なるもの、來り易き方法を執るの急務なることを思はざるべからず、

寄贈金

寄贈金

- 一 金壹萬參千七百拾四圓七拾參錢五厘
- 二 金壹萬參千七百拾四圓七拾參錢五厘
- 三 金貳百貳拾圓
- 四 金貳百貳拾圓
- 五 金貳百貳拾圓
- 六 金貳百貳拾圓
- 七 金貳百貳拾圓
- 八 金貳百貳拾圓
- 九 金貳百貳拾圓
- 十 金貳百貳拾圓

大博覽會事務官更迭

大博覽會事務官更迭

大博覽會事務官、赤星典太郎氏に更迭せられたるなり、

大博覽會事務官、赤星典太郎氏に更迭せられたるなり、

時局と京城經濟界

時局と京城經濟界

時局は、京城の經濟界に於て、一、大なるもの、來り易き方法を執るの急務なることを思はざるべからず、

時局は、京城の經濟界に於て、一、大なるもの、來り易き方法を執るの急務なることを思はざるべからず、

地方雑信

地方雑信

- 一 金壹萬參千七百拾四圓七拾參錢五厘
- 二 金壹萬參千七百拾四圓七拾參錢五厘
- 三 金貳百貳拾圓
- 四 金貳百貳拾圓
- 五 金貳百貳拾圓
- 六 金貳百貳拾圓
- 七 金貳百貳拾圓
- 八 金貳百貳拾圓
- 九 金貳百貳拾圓
- 十 金貳百貳拾圓

須賀川小間物化粧品商組合規約

須賀川小間物化粧品商組合規約

須賀川小間物化粧品商組合規約、一、大なるもの、來り易き方法を執るの急務なることを思はざるべからず、

須賀川小間物化粧品商組合規約、一、大なるもの、來り易き方法を執るの急務なることを思はざるべからず、

博愛赤十字會社 井村整興社 本所 進祥

齒ブラシ 卸 東京神田橋本町 委井號

KIREISUI

最高キレー水

最良化粧料

色白くをを出す



花の顔 雪の肌

鳥を驚かす

功はやくとも天眞の容姿に

保登仕り候

本家 山崎帝國堂

大工場と鑛山 應急工アルボース

製造本舖 伊勢吉壽美禮堂謹製

伊勢吉壽美禮堂謹製

井上太兵衛 同屋敷町

堀井長兵衛 同屋敷町

萬屋忠兵衛 同屋敷町

田中花王堂 同屋敷町

武井龍三 同屋敷町

山田眞三 同屋敷町

柳下藤五郎 同屋敷町

大和屋小兵衛 同屋敷町

丸善商店 同屋敷町

淺井源七 同屋敷町

近江源七 同屋敷町

佐々木善兵衛 同屋敷町

三河屋善兵衛 同屋敷町

平尾善兵衛 同屋敷町

尾見善兵衛 同屋敷町

大井支店

小支店

林支店

支店

カラクダ印麝香石鹼

容貌美御料カスガオイル

Camel Musk Soap

ラクダ印麝香石鹼(高貴なる麝香) 浸す、スミンの香料を多量に含むが故に一度使用せ、其香氣身体を元より手拭え

ハンカチーフ 及び浴後のゆわく、至る迄つり 香いたく、五日間も馥郁と、 かわりを失はば、一大特点と有す

廉低格價 保永香芳 良善質品

日丁三町石本 (元賣發) 區橋水日京東 衛兵太上井

松澤ホーサン石鹼

色白く艶をだす最良の化粧石鹼

毛髪 男女 麗ハ艶美

到る所に販賣す類似品あり松澤名義に注意

目丁四町石本京東 屋間種樂香芳ス 舖本水香クスム 吉常澤松

壽美禮おしろい

壽美禮水おしろい

ザワイオレット水製

標商録登 SUMIRE WASHING POWDER

洗滌劑 粉ひらあ麗美壽

製造本舖 伊勢吉壽美禮堂謹製

白川菊王堂

本口衛生試驗所 於ニ無銘毒心明ラ得タリ

電話長花二九〇番 東京通橋町

振替三三六番

製造本舖 伊勢吉壽美禮堂謹製

大和屋小兵衛 同屋敷町

丸善商店 同屋敷町

淺井源七 同屋敷町

近江源七 同屋敷町

佐々木善兵衛 同屋敷町

三河屋善兵衛 同屋敷町

平尾善兵衛 同屋敷町

尾見善兵衛 同屋敷町

大井支店

小支店

林支店

支店

特許法の改正に就て

特許局長 織田 一氏談

特許法改正の必要は、夙に當局の認むる所にして、或は根本的改正を見るやも計り難し、然れども之が改正は關係する所頗る廣大にして、單に机上の議論に依りて決定すべからず従つて當局に於ては、主として如何なる法律が最も今日の社會に適應するやを調査すると共に、他方に於て同法と利害關係を有する諸氏の現行法に對して、不便と感ぜ、又は不當と信する點に於て注意せられん事を希望するものにして、特許料特許手續、其他審査に對する問題の如き、單に當局者又は論客の主義政策を以て決定すべきものに非ざるなり、

同法改正に就て一部新聞紙の報するあれども、殆んど誤謬の報道にして、同法の改正は目下調査中に屬し、來る第二十四議會に提出せず、當局の考へは以上述べたる次第なれば、利害關係者の意見を充分に考慮し、第二十五議會には是非提出するの心算なり、元來此法律は各國其主義を異にし我國に於ては登録主義を採用し、原簿登録に依りて第三者に對抗し得る規定なるに、英國の同法は、先使用主義にて、先使用に依つて第三者に對抗し得るものなり、斯の如き根本的相違の存在を以て、大阪某商人の使用せる鈎印金市の登録に就て、英國産鈎印金市の模造なりとして、屢々争ありたれども、我特許法上大阪某商人の登録を無効と宣告することを得ず、況して特許法の設備なき清國に於て、同商標を使用するも英國の前使用者は之を争ふを得ざるものと信す、而して兩主義の是非に就ては、種々議論の存する所なれども、暫く之を擱き、實際上我國に於ては以上の場合に於て、何等の疑ひ存せずとも、治外法權の行はるる清國に於ては、各國人の利益を相衝突し之が規定の困難なるものあるを以て、歐洲諸國の如き、清國に於ては相互主義の條約を締結せり、例へば米國人が英國に於て特許權を得たるに、第三者たる英國人が之を

使用したる場合には、在清國米國領事官が英國の法律に依つて該使用者を罰すべしとの條約にして、近來我國にも同條約の加入を勧むれども、我當局者間には異論ありて、未だ何等の確答をなさず、然れども余を以て之を見れば、歐洲諸國間は交通便利にして、外國政府に對し登録を請求するに差したる不便なれども、我國の如き遠隔の地に在つては、條約國政府に對し登録を請求する事頗る困難にして、兩者の間常に我國人に不利なりと信するものなり、

現行法に於ては、同一の發明品に對し、時を異にして特許を得たる場合には、後者を無効とするの法律なれ共之に對し後者の發明が不正の行為に依つて特許權を所得したる場合には無効となる取て疑の存せざる所を得し、之を他人に讓渡し、或は共有にし或は質權の目的に供したる場合に、偶々右の發明が最先のものに非ざるの理由を以て無効とせられんには善意の第三者の既得權を侵害するのみならず、發明家の奮發心を阻害するものなりとして、世上に反對もあれど、議論は兎に角として、今日までの經驗に徴するに、斯る問題の起ることは甚だ稀れにして、寧ろ迂遠なる議論と信するものなり、

樺太通信

本組員玉置金八氏は新領土樺太に於ける商況視察をなしたる處の主なる地の状況を通信して業界に一新活動地を指示せらるる本編は即ちその第一回通信なり爾後いかに斯業が樺太に於て活躍すべき氣運に際會しつゝあるかの實況は詳細本紙上に現はるべきことを信す、

第一信

八月二十五日 玉置金八 樺太大泊にて

八月二十一日日輪内港出帆樺太コルサコフへ向け航行、途中濃霧の爲め進路を見失ひ、非常の困難を極め、二十四日未明薄氷をコソコソ入港せし候、甲板より見たるに大泊海岸の右方に茅屋の點々として見ゆるのみならず、新領地の發展として、既に賑ははるる事と意外に思ひつゝ、上陸候儀、是れは市街の一端にて、流行に有之候、市街に入れば又意外の大市街なるに

驚き申候、市は海岸に突出したる山を抜き、大泊、コルサコフの二市街より成り、山の後方を回り、地形に里餘に渉る延長にて、戸數約三千人口一萬五千、前途益々増加の模様有之候、商業に餘念なし、我各種實業家軒を連ね、福富氏支店、札幌齋藤氏及秋野氏支店、其他一二の小店有之候、就中福富氏支店は八太郎氏實業重工業を擔當し、占領第一に渡航し、熱心勉強の結果、官民の氣受最も宜敷、諸官衙の御用商人として信用も厚く、中々繁昌致し居候、其他齋藤氏は呉服太物を兼業にて、主力を呉服太物に注ぎ居候様子、秋野氏は雜貨を兼業にて、何れの商店も繁榮致し居候、八月一日より電話開通致し何れの商店も電話の應接中々感に御座候、目下加盟者二百計、申込中の者五百計有り之候由に御座候、

昨年十一月間開通になりしコルサコフ、ウラジロフカ間の輕便鐵道に乗じ、ウラジロフカへ参り申候、此地は東西に山を背南北に通ずる廣大なる平坦地にて、北海道の札幌か旭川に類するの地に御座候、本島未來の首府たるの地とて市街の體積と擴大なる設計に御座候、

昨年夏頃より新市街の區劃下ありて、新築の建築實に感なるものにて御座候、目下戸數千計あり、其他官衙にしては守備隊兵營の建築を始とし、樺太廳、樺太病院地方裁判所等の大建築工事中、之れに使役せらるる労働者のみにても五六千人は下らざるべくと存候、同所同業者には福富氏支店、中田商店等にて、福富氏支店は、大泊同業諸官衙の御用商人として、中々盛大なる商ひ振りに御座候、

四五日前に赤痢患者五六名特發致し候、極北の地此種の傳染病の發生あり、藥業界の前途亦多忙と言ふべし、

大泊及びウラジロフカ共に創設店多く、花柳界の盛なる事此の一事にて市街の情況察知し得られ申候、從て化粧品類實行夥だしく、是亦前途有望に有之候、

占領三歳ならざる草莽の地に於て如斯業築を見る、其進歩發達の速なるに一驚を喫し申候、

是れより大泊に反方、便船に乗じ、西海岸マツカへ視察に參り申候、同地の情況は追々御報可申候、

賞花香水
十種以上六種以上
小瓶大瓶
東京市馬場町三丁目 田中花玉堂



製造元 東關 元 造 製
町宮市屋古名 町廣末市屋古名
目三町喚馬市京東

堂王花中田 衛兵太藤近 堂國美屋土

○十二瓶大入打○十瓶小
りな箱二十各は箱一入打一
圓二瓶大 製厚膠別特
銀十五瓶小 圓一新中



同業者諸君に告ぐ

ばら齒磨は日本唯一の藥齒磨なる丈け販賣力に富み何れの地にても特種の賣行あり

ばら齒磨は東京帝國大學教授醫學博士丹羽敬三先生の精密なる指示監督の許に調劑せる日本唯一の藥齒磨なり

ばら齒磨は同業製品中最も利益多き物なるを以て卸小賣店の重寶なり

粉製ハ 小袋、大袋、桐箱、平瓶入等
煉製ハ 小丸形(桃ニツケル)同ニツケル(白)
右之外種々 煉蓋小判形(上)罐 入煉 旅行用

本舖 東京 東 光 園
大阪 東京 東 光 園
東京市京橋區南船場十一番地

香気乃清香耐久は天下無敵なり

久通實地殿下
賜御買上の

鳳舞園
東京 柳下藤五郎
同 腸田眞盛堂
同 吉田萬珠堂
大阪 小林支店



乃木公之右衛門

製造本請東京西條

乃木ムスク石鹸は品質の善良なると芳香の佳良なるは一度使用せし人の忘るゝ能はざる所なり

又其の一個毎に大は一錢小は五厘に引替得べき包紙を添付し有るを以て特色となす

定價(大形)一ケ二十錢
小形)一ケ十錢



子女の讀書に就て

某夫人に答ふる書 泉生

必ず爲さざる可からざる家庭教育の事業...

多読

先づ此の三讀方及び多種讀書等堅く戒めざる可からず...

多読の多読、或は讀書にのみ偏するを戒めたるものに候...

道義的精神

を以て書かれ又結ばれ、而して文章も乾燥ならざるを最とし申候...

小説

このことは今更新しく申述ぶべき程のこと無之、無論多読して益少く候...

大博覽會各部長

十日左の通り任命ありたり

目的を達し、國民として、此思想なるべからず候へ共、武人とならざれば愛國者たり...

同工部部長を命ず、同理事部長を命ず、同庶務部長を命ず、同出品部長を命ず...

千代村伊三郎 純銀製 懐中時計各種 洋白鍍金製 實用真鍮製

平谷合資會社 房字各種 和洋石鹼 雜記習字帖...

紳士淑女 サニナ三石 御用 みやげ 美印は必がき



新體詩の研究

(初學者の参考)

野口北楊

明治文學上に異彩を放ち、抜くべからざる勢力を有するものは、唯、新體詩である。明治の詩と言へば、第一に新體詩を擧げねばならぬ。明治の思想を意味し、明治の新文學を知らんとする人には、新なる詩形即ち新體詩の研究は、尠からず必要である。

さて明治十五年の頃だと思ふ、戸山、矢田部、井上の三博士が西洋の詩の翻譯と自作の長篇とを合せて『新體詩抄』と言ふ單行本を丸善書店から出版した、これが抑々新體詩なる名稱の起りである、其本の凡例に左の如きことが言つてある。

均シク是レ志ヲ言フナリ而シテ支那ニテ之ヲ詩ト云ヒ本邦ニテハ之ヲ歌ト云ヒ去ク歌ト詩トヲ總稱スルノ名アルヲ開カズ此書ハ歌スル所ノ詩ニテアラズ歌ニテアラズ而シテ之ヲ詩ト云フハ泰西ノ『ポエトリ』ト云フ語即チ歌ト詩トヲ總稱スルノ名ニ當ツルノ古ヨリイハユル詩ニテアラザルナリ

和歌ノ長キ者ハ其體或ハ五七或ハ七五ナリ而シテ此書ニ載スル所モ亦七五ナリ七五ハ七五下ニシテ外ニ拘ハル者ニテアラズ且ツ夫レ此外種々ノ新體ヲ求メント欲ス故ニ之ヲ新體ト稱スルナリ

以上の如き目的で新體詩は生まれたのであるが、當時は至つて幼稚なものであつた。その後二十幾年かの間幾多の作者が出て、その内容に明治の新智識を以て、措辭に西洋の詩語を用ひ、詩形の工夫や形式の研究を重ね、著しい長足の進歩は遂に今日の新體詩に至り、技巧の圓熟は殆どその高潮に達したと言つても好い位になつた。

然し年を経るに隨て又々變化し、又々發展するのである、由來新體詩は自由なる詩形であるから時と共に刻々として時代の風潮を追ひつゝ遷つて行き和歌や俳句のや

古今和歌集の序に『花に鳴く鶯水に棲む蚌いづれか歌を詠まざりける』と言つてある通り鶯や蚌の鳴くのは自然の感興に觸れて發する幽幻美妙の詩なのである。然るに人は最も微妙なる思想感情に富んで居る、物に觸れ物に感ずる事は、鶯や蚌の如き他の動物よりも深大でそして至高である。即ちこの思想感情が詩の元素となつて、文字に依つてその思想感情を現されたのが詩である。かやうに立派な思想ありて、思想に伴ふ言語ありながら天地の美に接しても美を美なりと歌ひ現はすことの出来ない人は人として一の資格に缺けて居ると言つても差支へないと思はれる。であるから詩作の研究は人として已に必要である、況して現代の思想感情を自由自在に歌ひ現すことの出来る最も進歩したる詩形即ち新體詩の研究は殊に必要である。

以上述べたる如く新體詩は現代最も進歩したる詩形なることが解つたならば、まづ如何なる方面より之れが創作を試みて好いかと云ふ疑問が起るであらう。そこで一つお話をせねばならぬのは、獨り新體詩に限らず如何なる詩でも第一詩想の修養が必要である、詩想が空では佳作の出来やう等はない。元來詩想は其人の天賦であるけれども修養の如何に依りて能く死を玉たらしむることが出来ないでもない。そこで詩想修養の便利の爲めに初學者は二つの方法を取るのが詩園へ進み捷徑である、その方法の一は先輩が豊饒なる詩想を傾注したる名篇佳作を讀み能く新體詩趣味を玩味する事である、他の方法は天地間に於ける美妙なる大詩篇に接しやうと努める事である。天地の美妙なる大詩篇を見出すのは左まて困難の業ではない、まづ先輩が『落日』を詠じた詩があつたとすれば、夕暮の曠野に立つて沈み行く日の光や雲の色彩や四邊遠近の川や林が彩色濃烈として迫り来るのを見て居る内に、自ら『落日』を詠じた詩の作意が

火車が燃ゆるが如く華かなる事などを想像して歌つて見るのも好い。總て斯の如く先輩の作詩と自然とを相對象して作意を玩味して行く内には知らず／＼新體詩詩作の堂に達する事が出来るのである。

そこで一つ注意をせねばならぬのは、自然を歌つた自然詩でも、情緒美を歌つた抒情詩でもその他敘事詩に至るまで詩想を以て能く詩材を消化し即ち詩化したのでないければ生命ある詩とは言はれない。例へて見れば鯛魚は甘いものには相違ないが、若し調理の仕方が下手であつたらば折角の美味も其だまづいものと成つて仕舞ふと同様に、新體詩も矢張り折角の好詩材でも詩化の方法を誤れば空東いものと成つて仕舞ふ虞がある。

離別したる夫婦の述懐

右近生

其人の名は憚れば言はず。處は神田の錦町に住みて、さる銀行に勤せる青年紳士、二年前妻を娶りたるが、夫婦の間兎角に睦しからず、近頃遂に離別せり。要らざる世話とは思ひしが、何かの材料に訪ひて、何が故に離別したりしやと問へり。

『下もねえ君、虚栄心の強い女でしてねえ、お耻かしい話だが、僕は未だ三十圓の月給しか取れないのです所が銀行員などと言ふ者は兎角外見を張つたがるもの否、又外見を張らなきやならん、其上にヤレ交會だヤレ何だのと、交際費の張る事は一通りで無い、此物價の高い折柄にすねえ君は三十圓ばかりの端金で家を構えて飯を食つて衣服を着て、其の上に見得は張らなきやならん交際はしなきやならん来るのですから、其困難に堪へたる次第です、然るに彼女は、其僕苦勞を少し

夫が名は憚れば言はず。處は神田の錦町に住みて、さる銀行に勤せる青年紳士、二年前妻を娶りたるが、夫婦の間兎角に睦しからず、近頃遂に離別せり。要らざる世話とは思ひしが、何かの材料に訪ひて、何が故に離別したりしやと問へり。

『下もねえ君、虚栄心の強い女でしてねえ、お耻かしい話だが、僕は未だ三十圓の月給しか取れないのです所が銀行員などと言ふ者は兎角外見を張つたがるもの否、又外見を張らなきやならん、其上にヤレ交會だヤレ何だのと、交際費の張る事は一通りで無い、此物價の高い折柄にすねえ君は三十圓ばかりの端金で家を構えて飯を食つて衣服を着て、其の上に見得は張らなきやならん交際はしなきやならん来るのですから、其困難に堪へたる次第です、然るに彼女は、其僕苦勞を少し

標商錄登

初穂後白粉

登屋艾ぬいはり問屋

東京小網町三丁目
九世富士治左衛門

針いぬ屋問

一三三花浪話
十五百千四座口管振

花王 后 除

東京市馬喰町二丁目
長瀬富郎
大阪安土町
大崎組商會

關西代理店

完備セル工場ヲ設置シ多額ノ製品ヲ產出シ世上濫造ノ間ニ立チ能ク品質ノ佳良ヲ保持ス其功賞スベシ

花王石鹼本舖

化粧品製造販賣 金城堂 大野金五郎

き能判評に内市京東
いろしお

東京勸業博覽會石鹼化粧品部に於て最高賞の名譽銀牌を受領し特に左の賞辭を賜はり弊家の光榮とする處なれば倍々品質の精選に注意し平素の御愛顧に酬ひんことを期す

て於に會進共二五念紀旋凱
す領受牌銀歩進

石シマルホ

市内特約店

丸見屋商店 柳下藤五郎
平尾贊平 佐野小五郎
田中直兵衛 淺井支店
仲徳次郎
脇田盛實堂 齋藤吉次郎
天野磯五郎 齋藤鐵太郎
長瀬富郎 大野金五郎

名譽銀牌

東京勸業博覽會石鹼化粧品部に於て最高賞の名譽銀牌を受領し特に左の賞辭を賜はり弊家の光榮とする處なれば倍々品質の精選に注意し平素の御愛顧に酬ひんことを期す

長瀬富郎
大崎組商會

美顏水

化粧品製造販賣 金城堂 大野金五郎

き能判評に内市京東
いろしお

も察して呉れないばかりか、マレビー入の指輪が欲しいの、マレ三越の新柄が何うだの、掛だしきに至っては芝居を見るにさへ、高士間でなければ承知をしません。加へに奥様と云ふ言はれれば、無闇に有る頂天になつて、湯水の如くに金を、まき散らす、で、外へ出る時などは必ず女中を従者に連れて出るか、さもなくば四五両先へ行くにさへ、一々着物を着更へて人力車……ソレも服場の人力車でなければ乗らないのです、何の事はない華族の奥様にでもなつたやうな取り方です、併し娶つた當時は只モリ可愛い一方で、内々國元の親に嘘をついて、先祖傳来の田地の一部を賣拂はせて、若干の金を取寄せて、マレが欲しい諸君へ、彼處へ行きたい諸君に行かう、あれが親たい諸君に行け、遂には君、俳優が買ひ度い……と、夫ソコ迄は流石に行きませんが、其位位事は言ひ兼ねなかつたので、僕を餘りの事に呆れまして、偶には一二つ小言をいふ、スルト怒つてヤレ愛が無の情が薄いと仕舞には聲をあけて泣き出すんだから泣りませぬよ、マレ此様なやうな事を一々言つて居て居るが、マレが親たい諸君も、さういふ考へた結果、若し何時までも斯ういふ女を娶にして居たら、遂には女房に賣められる苦しまされに盜賊でもするやうになつちや大嫌だといふので、トウトウ三行半にした體なのです。

君、眞ッ事お金の融通が利かないのなら、すけれど、自分には時々奢りなど買ひに行つて、お金を湯水のやうに使ふんぞよ、嬪嬪のきく人でしてねえ、旦那様と云ふ言はれれば、有頂天になつて仕舞うんで、吾れは其何れを是非とし何れを非とすべきやに苦しむ、庶幾は賢明なる讀者の示教に待たぬ哉。

善魔言



▲偷理の火桶の水▲
海老茶房の春雨や、飛んで往來の湯乙鳥に、オレノ色の傘の内、窺かれて顔赤らむ年頃の女の、奏樂堂は日比谷公園の月の夜、風さへ涼しく秋を吹いて、一くさりの大序に、心空なる折から、つと後より寄り添ひたる角帽子に、米はえ所がぬ柔手を握られて、振り切る勇氣もあらず、一應は免れんと試み、再度は逃げんとあせれど、漸く固くられ、玉の腕も鬼一口と男の小腕に括き込まれるれば、偷理の火に情慾の水の争ひ偏らなる胸さわぎ、間違へばと學士とも博士とも成るべき人の妻たらば左程の恥にも有らぬ、淫蕩なる理性の糸道を胸にもやしては、漸次に加はる壓迫に誘致に、巧なれば強ければ、つい屈從する也、問はれ通へる學校の名も言ふなり、誇はれては善からじと知りつ、料理店へも上がるなり、斯て一滴も飲めずと言ひし酒さへ、葡萄のならば無理に強ひられて二三杯は飲むなり、否で、うけません、と吾れ聲も物恐ろしに齒かに振れ付ければ、さしてはかなき夢まで結び了ぬるよ。

▲程無く嫁入り口を定れば、敢て拒まざるなり、彼方は資産豊かな銀行家なるに、情夫は如何に内助の効が偉大なるか、終生浮かひ願するべくも思はれざる一介の留落書生なれば。

▲一介の留落書生▲
父母の前に過去の罪惡を自供する勇氣の勿論有らざるは無く、此所に被れたる身を以て、さな處女らしく振舞ひ、前情にも充分怖れを抱き、嫁入り式の連なり、心の鬼が身を攻むる紅葉狩らぬ、高砂の細曲を聞きつ、三三九度の杯も交はずなり、良人を欺くなり、神を偽るなり。

▲更には悪く間違へば、新しき良人に事へつ、尚ほ舊情夫に迫られては、指持つ足の餘儀無く密會するなり、無心も聞くなり、嗚呼何等の見識！何處に意志！信仰無ければ家に等しき者よ。

▲悪くし世の中▲
或は都大路の柳の蔭、或は公園の池の邊彼處に此所にも、海老茶房の影を見ぬ所無く、又一雨毎に其数を増す勢もすまじき、是等女學生の半数は滑からぬものなりとは云へば、恐ろしき世の中なるかな。

▲世は即ち世▲
▲己に出づるものは己に歸るとやら、前に乙女を誘致して其操を破りしものは、後に汚れたる女を處女として迎へ、こよなき物として愛せる、其實例を知れるが、余のみにも四五有り、君方も亦必ず三四を知らん、世は即ち世の奇妙なるかな、と第三大會の八橋前、酔ひしれたる紳士は其友

吾れは去つて妻たりし婦人を訪ひぬ。九品品よく結ひなして、胭脂白粉に思ひを展したる、衣物の長長く奥にたる、香水のかをり怪しきまでに蒸せる、指にはめたるビーの指輪に、良人が話、まづ背づかれぬは、あれ彼女の言ふ所は極めて簡單なりき。あの人程生地無しの男も、いませぬねえたとへ貴君月給は少くとも、腕さへあればねえ、少つとやその融通は利きますわ、妻は元來構はない方ですから、別に贅澤な眞似など致し度は無いのですけれど、併し同僚の方の奥様が立派な外姿をして被らしやるのに、貴女ねえ……

▲ナンパン学校▲
▲されば男の方に僞物所有するが如く、女にも僞りの式部有り、ナンパン学校の女生徒さんとは、電話交換手の異名なりとか。

▲世は即ち世▲
▲己に出づるものは己に歸るとやら、前に乙女を誘致して其操を破りしものは、後に汚れたる女を處女として迎へ、こよなき物として愛せる、其實例を知れるが、余のみにも四五有り、君方も亦必ず三四を知らん、世は即ち世の奇妙なるかな、と第三大會の八橋前、酔ひしれたる紳士は其友

信友信友信友
信友信友信友
信友信友信友
信友信友信友
信友信友信友

スニレス
羊ムスク
石鹸
清水開花堂
東京日本橋區横山町

東京星野の人造麝香
近來種々の魚製品あり注意の上御求あれ
人造麝香
星野與兵衛

一大注意
和製の僞物續出せり特に米國製と御指定を乞ふ
最新東髪前髪じん
ハヤロル
元買販手一本東京
店商加日

シワ印化粧用クレーム
東京日本橋區本銀町四丁目拾七番地
樂器商 唐木屋才平
(貯金口座三一八五番)

移轉廣告
今般左記の所に移轉仕候間不相變
御用命仰付被下度此段廣告候也
東京日本橋區本銀町四丁目拾七番地
樂器商 唐木屋才平
(貯金口座三一八五番)

衛生と終
最良の卵
石鹸
衛生と終
最良の卵
石鹸
衛生と終

くばやまきよりほか

小判石煉

東京本局
電話一四三二一七

の製法は... 良好... 香を有し...

佳人夜話

華山生

▲結婚までの夫婦... 貴様は未来を信じますか。信じます。夫れなら何故亜米利加人の夫婦が三世三世といはな...
▲結婚までの夫婦... 貴様は未来を信じますか。信じます。夫れなら何故亜米利加人の夫婦が三世三世といはな...
▲結婚までの夫婦... 貴様は未来を信じますか。信じます。夫れなら何故亜米利加人の夫婦が三世三世といはな...

▲不適合の結婚... 日本でも男子は若い女と結婚... 夫れは母より二十五若か...
▲不適合の結婚... 日本でも男子は若い女と結婚... 夫れは母より二十五若か...
▲不適合の結婚... 日本でも男子は若い女と結婚... 夫れは母より二十五若か...

▲大博覽會敷地決定... 来る四十五年の大博覽會敷地は其筋に於て...
▲大博覽會敷地決定... 来る四十五年の大博覽會敷地は其筋に於て...
▲大博覽會敷地決定... 来る四十五年の大博覽會敷地は其筋に於て...

千歳元結本舗
三河屋勇三郎
電話新二一〇番
住吉屋
上田長右衛門

針問屋
住吉屋
上田長右衛門

伊營 幸品 店錄

花簪各種
丈長各種
木櫛各種
鏡各種
改良各種
系卷奴各種

洋銀簪各種
曲形各種
紅網各種
縫取各種
夜前各種
東田各種
リボン各種
各種各種

紅屋勢 大貫幸吉

各種流行新形 魁價格ハ他ニ一歩
モ不讓

東京市馬喰町三丁目

本店 東京市下谷区上野町二丁目
西田嘉兵衛

系組組問屋
東京市日本橋區横山町二丁目
西田支店

獨り國神本
治金愛用品

はくし香水



小賣業大店舗 (承前)

大 槻 生

今や進んで所謂小賣業大店舗なるもの、現時の經濟社會に如何なる作用を及ぼしつゝあるかを見るは、吾人の店舗なるものを論ずるの主眼なれば、其の大體を示さんと欲するも、此の制度たるや最近の發生にかり、且つ所謂過渡の時代に屬するものなるを以て、彼れは是れは定説を下すの餘裕なきは勿論、之に關する諸種の學說ありて之を非難するもの多し、其の利益を分ちて(1) 仕入の方面より見たる場合

(1) 仕入の方面より見たる場合 従來の小賣商は、華客の嗜好「テースト」によりて販賣せらるゝものにあらずして卸賣業又は製造者の考案せる商品を轉賣するに止まりしが、従て消費者の「テースト」を卸賣商は製造者に傳へて需要供給の適合を眺ると云ふ所謂商人の天職を盡くすこと能はざりき、然るに大經營にて之れを營むに至りては、其の販賣高非常に大なるを以て、需要者の「テースト」を概括的に知ることを得、従て其の生産の方面を指導することを得、需要供給の適合を最もよく計ることを得るものなり、故に仕入の方よりするときは「人」の嗜好に適合する様に生産に勉むることを得、販賣高大なるを得ること(2) 仕入直段非常に安値なることを得ること

して何等華客の嗜好を惹起するものなきに反して、大經營にありては、其の家屋敷居に渡り、凡ての娯樂の準備はらざるなく其の設備善美を盡くし、最も花客の心を誘起することを勉めつゝあり以上の如き利ありと雖も、利のある處短所亦之に伴ふものあるは免れざる所にして、其の弊として擧ぐべきものは次の如し(1) 大經營の販賣購入に關する適當の人材を配合することの困難 各種商品を一つの商業に集めて經營するが爲には、此等各種の部門に通曉せるものを適當に配列せざるべからざれど、是れ頗る困難なることに屬するものなり(2) 大經營は頗る投機的に屬す 大經營の規模大なるだけまた其の弊大にして、一部の失敗は全局に及ぼすの恐れなきにあらざり大なる廣告法を利用し、特別の商品を廉價に販賣し、娯樂的手段にて花客を引き、甚だしきに至りては、店陳し又は賣残りの商品を混用する等の弊を生ずるものなり

初秋日記

ギョーイと水車の音ア、五月蠅い!! 僕の家は何故此様な五月蠅な家業をしたらう? ア、然し云ふまい天の我に與へた神聖な家業だぞと抗し様とするのは自然の原則に背く犯罪者である。...

室内を隔なく照して居る 又ギョーイと水車の音ア、眠れない、何處からともなく妙なる消雷の響が階かに破障子から漏れる 水車の音が胸を突くと妙なる消雷の響? 逝くかと思ふと聲々と響き来る

仰げは空は星降る様な天の川! 小川の露草に光を宿すのは蟲か? 十間位前なる水車の響が先刻よりは勢よく勇ましく音を立て居る

「誰だ君は」 彼の入跡は驚いた様に立止まつた 「え、美し」 彼の入跡は近寄つて「誰だ方だと思ひました後様さん」

「ア、梅子さんですか誰だと思つた」と云つつ四邊を眺めて「マア掛け給へ夜の景色は又格別ですか」

「え本様ですかは美し夜の景色が大好なの」 「ハハ、貴女も大分詩人化して居るな」 「マア貴方こそ」

Advertisement for '美花洗粉' (Beauty Flower Wash Powder) featuring a woman's face and the product name.

Advertisement for '香油' (Essence Oil) featuring a bottle of the product and the brand name '勉強堂阿竹'.

Advertisement for '香油' (Essence Oil) featuring a circular logo with the text '芳香原料商' and a list of products.

Advertisement for '香油' (Essence Oil) featuring a woman in a kimono and the text 'スミレ香油'.

つ保く永を香芳

香水界の大革命

美人香水

中岡大洋堂



東京日本橋區戸町廿四番地

日本橋區戸町廿四番地

中岡大洋堂

支店

東京市神田區 橋本町壹丁目 商號 松井號

電話 浪花三三三〇番

支店

東京市神田區 橋本町壹丁目 商號 松井號

電話 浪花三三三〇番

本舖

大阪府東區 堂島 高松井號

電話 東二四七二番

支店

東京市神田區 橋本町壹丁目 商號 松井號

電話 浪花三三三〇番

支店

東京市神田區 橋本町壹丁目 商號 松井號

電話 浪花三三三〇番

天中一品

白粉の女王

都花



「何？柿が落ちて、喰れるもんか其りや蟲が付いたんだよ。」

娘の十間ばかり離れた小池の邊で、心に金魚の泳ぐのを眺めて居た十ばかりの男の子、敏ちゃんと呼ばれたのが鳥渡と振返つて見て事なげに感嘆云ひ捨てた。

此處は尾花生ひ茂つた小岡の麓、軒傾いた草の孤屋の香片である。折から秋の緩い日光が、垣根の柿の梢を透して二人が居る池の邊、斑白な影を下して居る。

「だつて此様な甘い汁に溺して居るの。」と娘の子は駆け寄りながら尙其甘さうな香ひに其儘打撲てるのは惜しいので、敏ちゃん喰べちゃ不可の、蟲なんが付いて居やせんからよ、敏ちゃん立つて居る池の邊の大きな石の上まで来た。

「敏ちゃん、柿が落ちてるよ。」

突然感嘆叫んで嬉しうに拾ひ上げて喰めたのは、六つばかりの女の子、手織木綿の袴を着て足袋も穿かず草履ばきの、何れは此邊の百姓の娘であらう、色こそ淺黒いが、さげ髪愛くるしい盛りである。

「何？柿が落ちて、喰れるもんか其りや蟲が付いたんだよ。」

娘の十間ばかり離れた小池の邊で、心に金魚の泳ぐのを眺めて居た十ばかりの男の子、敏ちゃんと呼ばれたのが鳥渡と振返つて見て事なげに感嘆云ひ捨てた。

此處は尾花生ひ茂つた小岡の麓、軒傾いた草の孤屋の香片である。折から秋の緩い日光が、垣根の柿の梢を透して二人が居る池の邊、斑白な影を下して居る。

「だつて此様な甘い汁に溺して居るの。」と娘の子は駆け寄りながら尙其甘さうな香ひに其儘打撲てるのは惜しいので、敏ちゃん喰べちゃ不可の、蟲なんが付いて居やせんからよ、敏ちゃん立つて居る池の邊の大きな石の上まで来た。

「お母様、く〜。よしちゃんも共に様の方へと近寄るのである。」

「お、可愛い御行儀でお遊びですこと」と婦人は微笑みながら、様々の唇に足を垂れた。子供は無遠慮に其の膝のあたり袂のあたり取寄り、あどけない事を話しかける。

「お母様、今ねよしちゃんも蟲の喰つた柿を拾つて、喰ひかけたの、彼處の食ふとお腹が痛ひねえ、お母様」と訴へる。

「左様ですとも、敏ちゃんは何いものですね、折つたのは可いけれども、落ちたのは毒ですよ」と云つたが、よし子が腹かきさうに顔を結らめて立つて居るのを見ると、よしちゃんもよしちゃんはまだ小さいから其處でと知らないですわね、だから敏ちゃん氣を付けて上げなさいよ。」

「ああ、僕は此間先生に教はつたから知つて居るんだ。ちや折つたのは喰べても可いの。」

よしちゃん取り残された柿を見る。よしちゃんも黙つて欲しうに見上げるのだ。

西に傾いた日光が家の棟を滑つて、赤櫻々になつた柿の木にぶつかると、柿の實は燃ゆるやうな色に光る。

「よしちゃん欲しいんですか。婦人は二人が無罪氣な様を見て微笑むのである。

よしちゃんは指を嚙んで黙つて下を向いた、敏も無言のまま一寸此方を見つて見ながら、敢へて欲しいとは云はぬ。

「ちやお母様が上げませう、鳥渡待つてお出よ。」と立つて破れ目の丁嚙に切り替はれた障子を少し開けて奥に這入つた。

嚙て益に柿の大粒なものを四つ五つ載せて持つて出て来た。

「さ、此れを上げませう、此れも皮を剥いてから食べるのですよ。皮のまま食ると矢張りお腹が痛みますからね、云ひついで分けやると、皆嬉しうに可愛らしうな手を出すのである。

「此處で食へないの、食べたけりや皮を剥いて上げませうか。」

「お母様、く〜。よしちゃんも共に様の方へと近寄るのである。」

「お、可愛い御行儀でお遊びですこと」と婦人は微笑みながら、様々の唇に足を垂れた。子供は無遠慮に其の膝のあたり袂のあたり取寄り、あどけない事を話しかける。

「お母様、今ねよしちゃんも蟲の喰つた柿を拾つて、喰ひかけたの、彼處の食ふとお腹が痛ひねえ、お母様」と訴へる。

「左様ですとも、敏ちゃんは何いものですね、折つたのは可いけれども、落ちたのは毒ですよ」と云つたが、よし子が腹かきさうに顔を結らめて立つて居るのを見ると、よしちゃんもよしちゃんはまだ小さいから其處でと知らないですわね、だから敏ちゃん氣を付けて上げなさいよ。」

「ああ、僕は此間先生に教はつたから知つて居るんだ。ちや折つたのは喰べても可いの。」

よしちゃん取り残された柿を見る。よしちゃんも黙つて欲しうに見上げるのだ。

西に傾いた日光が家の棟を滑つて、赤櫻々になつた柿の木にぶつかると、柿の實は燃ゆるやうな色に光る。

「よしちゃん欲しいんですか。婦人は二人が無罪氣な様を見て微笑むのである。

よしちゃんは指を嚙んで黙つて下を向いた、敏も無言のまま一寸此方を見つて見ながら、敢へて欲しいとは云はぬ。

「ちやお母様が上げませう、鳥渡待つてお出よ。」と立つて破れ目の丁嚙に切り替はれた障子を少し開けて奥に這入つた。

嚙て益に柿の大粒なものを四つ五つ載せて持つて出て来た。

「さ、此れを上げませう、此れも皮を剥いてから食べるのですよ。皮のまま食ると矢張りお腹が痛みますからね、云ひついで分けやると、皆嬉しうに可愛らしうな手を出すのである。

「此處で食へないの、食べたけりや皮を剥いて上げませうか。」

「お母様、く〜。よしちゃんも共に様の方へと近寄るのである。」

「お、可愛い御行儀でお遊びですこと」と婦人は微笑みながら、様々の唇に足を垂れた。子供は無遠慮に其の膝のあたり袂のあたり取寄り、あどけない事を話しかける。

「お母様、今ねよしちゃんも蟲の喰つた柿を拾つて、喰ひかけたの、彼處の食ふとお腹が痛ひねえ、お母様」と訴へる。

「左様ですとも、敏ちゃんは何いものですね、折つたのは可いけれども、落ちたのは毒ですよ」と云つたが、よし子が腹かきさうに顔を結らめて立つて居るのを見ると、よしちゃんもよしちゃんはまだ小さいから其處でと知らないですわね、だから敏ちゃん氣を付けて上げなさいよ。」

「ああ、僕は此間先生に教はつたから知つて居るんだ。ちや折つたのは喰べても可いの。」

よしちゃん取り残された柿を見る。よしちゃんも黙つて欲しうに見上げるのだ。

西に傾いた日光が家の棟を滑つて、赤櫻々になつた柿の木にぶつかると、柿の實は燃ゆるやうな色に光る。

「よしちゃん欲しいんですか。婦人は二人が無罪氣な様を見て微笑むのである。

よしちゃんは指を嚙んで黙つて下を向いた、敏も無言のまま一寸此方を見つて見ながら、敢へて欲しいとは云はぬ。

「ちやお母様が上げませう、鳥渡待つてお出よ。」と立つて破れ目の丁嚙に切り替はれた障子を少し開けて奥に這入つた。

嚙て益に柿の大粒なものを四つ五つ載せて持つて出て来た。

「さ、此れを上げませう、此れも皮を剥いてから食べるのですよ。皮のまま食ると矢張りお腹が痛みますからね、云ひついで分けやると、皆嬉しうに可愛らしうな手を出すのである。

「此處で食へないの、食べたけりや皮を剥いて上げませうか。」

「お母様、く〜。よしちゃんも共に様の方へと近寄るのである。」

「お、可愛い御行儀でお遊びですこと」と婦人は微笑みながら、様々の唇に足を垂れた。子供は無遠慮に其の膝のあたり袂のあたり取寄り、あどけない事を話しかける。

「お母様、今ねよしちゃんも蟲の喰つた柿を拾つて、喰ひかけたの、彼處の食ふとお腹が痛ひねえ、お母様」と訴へる。

「左様ですとも、敏ちゃんは何いものですね、折つたのは可いけれども、落ちたのは毒ですよ」と云つたが、よし子が腹かきさうに顔を結らめて立つて居るのを見ると、よしちゃんもよしちゃんはまだ小さいから其處でと知らないですわね、だから敏ちゃん氣を付けて上げなさいよ。」

「ああ、僕は此間先生に教はつたから知つて居るんだ。ちや折つたのは喰べても可いの。」

よしちゃん取り残された柿を見る。よしちゃんも黙つて欲しうに見上げるのだ。

西に傾いた日光が家の棟を滑つて、赤櫻々になつた柿の木にぶつかると、柿の實は燃ゆるやうな色に光る。

「よしちゃん欲しいんですか。婦人は二人が無罪氣な様を見て微笑むのである。

よしちゃんは指を嚙んで黙つて下を向いた、敏も無言のまま一寸此方を見つて見ながら、敢へて欲しいとは云はぬ。

「ちやお母様が上げませう、鳥渡待つてお出よ。」と立つて破れ目の丁嚙に切り替はれた障子を少し開けて奥に這入つた。

嚙て益に柿の大粒なものを四つ五つ載せて持つて出て来た。

「さ、此れを上げませう、此れも皮を剥いてから食べるのですよ。皮のまま食ると矢張りお腹が痛みますからね、云ひついで分けやると、皆嬉しうに可愛らしうな手を出すのである。

「此處で食へないの、食べたけりや皮を剥いて上げませうか。」

大毛糸

原用織毛糸

種手番

東京市丸の内區

平治森藤



新月石鹼

昨秋畏クモ

皇后陛下 凱旋紀念五二

共進會へ行啓ノ砌

宮内省御買上ノ榮ヲ蒙リ

其後又

皇太子殿下 行啓ノ節

再御買上ノ榮ヲ辱フセリ實

ニ弊家ノ名譽之ニ過ギズ今

般紀念ノ爲メ新月石鹼ト命

名シ製造販賣ス幸ニ御愛顧

アラントナ希フ

花王石鹼本舖 東京馬喰町

關西特約店 大阪市安土町

大阪市博勞町 仁壽堂分店 大阪市博勞町

長瀬富商會

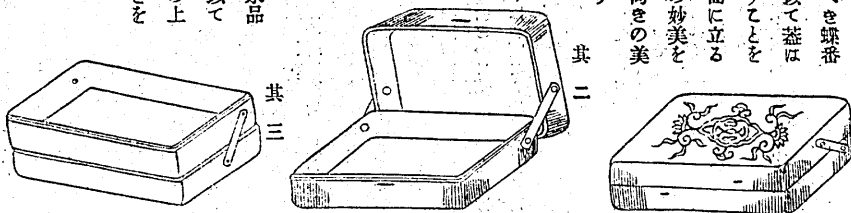
大崎組

小林支店



新案回轉自在石鹼函

本品は堅固完全なる回轉自在に開閉し得べき蝶番を應用したるを以て蓋は函の下に重ね合すことを得べく、又は側面に立る様としたる一種の妙美を有する全く實用向きの美術的の製作に成りたる最新の發明にして使用上便利有益は言迄もなく在來品の如く被損の患ひなき最文明進歩廿世紀の石鹼函なり、若又諸君の御便利を謀るに在來品と同等の定價を以て販賣仕候間御求の上御高評あらんとを



製造元 東京市淺草區藏前通八幡町 日本橋區横山町二丁目 益芳號 發賣元 脇田盛眞堂

特約店 石鹼函賣場 井上小四郎 東京市淺草區藏前通八幡町 益芳號 發賣元 脇田盛眞堂

「いや僕は一度家へ持つて歸つてお母様に...」 佐加子は名譽ある軍人の未亡人として、假令女中同様にされやうとも立派に後家を通過し、堅い健康な決心を持し、貞節の處待にも甘んじて居たのであるが、此様を見た里家の老母の見るに、或る日訪ねて来て無理やり佐加子を引いて歸つたのである。

來他人待遇の辛い目を見る事となつた。けれども佐加子は名譽ある軍人の未亡人として、假令女中同様にされやうとも立派に後家を通過し、堅い健康な決心を持し、貞節の處待にも甘んじて居たのであるが、此様を見た里家の老母の見るに、或る日訪ねて来て無理やり佐加子を引いて歸つたのである。

外面では蕭々とする雨が降り、いさゝか鳴き響く音も何時しか絶えた、前の小川に懸かつて居る水車の音が、此世離れた幽寂な音を立てるばかり。際限の夜風が冷りと襟に染み込む。

Advertisement for 'パール敷新輸入品' (Pearl New Imported Goods) featuring '煉白粉代用品' (Refined White Powder Substitute). Includes an illustration of a woman's face and a product box.

Large advertisement for '白粉' (White Powder) and '化粧料' (Cosmetics). Features a large illustration of a woman's face and a product box.

Advertisement for '東京白粉' (Tokyo White Powder) and '清心丹' (Heart-Clearing Pills). Includes an illustration of a product box and a woman's face.

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

貴婦人用 力 香水 京東 田村 製

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

「お母様、病だては優しく、男振りはよし、何一つ批を打つ處のないお母様である。ま

毒鉛爽 井浅町橋京東舖本

色を白くし

油香煉導高

小間物化粧品問屋

本銀・洋白・鋼簪

チエリポマド

本銀・洋白・鋼簪 指環根掛類 髪飾附屬品 屋問

本銀・洋白・鋼簪 指環根掛類 髪飾附屬品 屋問

チエリポマド

貴婦人用 力 香水 京東 田村 製

第四回帝國五二品評會に於て名譽金牌受領



廣香信願

神戸鳴行社
代理店 小林三才商店
電話一五二二



元賣發
目丁三町本東京
店文店商屋玉社合

東京勸業博覽會に於て一等賞牌を受領し
東宮殿下より御買上の榮を賜はる

虎印石鹼

第一號は形基だ大芳香酸郁として化粧衛生經濟を兼備せし佳品なり
第二號は形基だ大芳香酸郁として化粧衛生經濟を兼備せし佳品なり

東京本所緑町 芳誠舎

御園白粉

- 胡蝶園澤漿
- 御園白粉
- 御園白粉
- 御園白粉
- 御園の薔
- 御園とき水
- 御園なでこ
- 御園香油
- 御園香水
- 御園齒磨

丸見屋
店高居
日丁四町橋區橋本日本京東
八四四品法電國六五五金貯蓄振

煉製の二種あり

磨齒才

海上、口、漢、津、天、郎、次、富、林、小、阪、大、京、東

明治四十年東京勸業博覽會協賛出品
金牌及金屏風受領す
東京毎日新聞主催の投票に於て實に三十萬八千有餘票の大多數にて名譽當選

ウツ

郎五磯野天町山橋京東

美身料 馬車印

ニーム石鹼

熱心の愛用諸君は冠たる事を知らざる、故に
定價對製五拾錢大形廿錢小形拾五錢
輸入元 東京 オーク一商會
聯合發賣東京小間物化粧品組合

日品類無類煉と粉
本菊盛はみがき
本館 東京赤坂榎坂町
電話四三三三 吉岡菊盛堂

カメヤリ洗粉

一折價に付 定價金十三錢

美貌は婦人の生命なり
と或學者は唱へたり、獨り婦人のみならず
美貌は人生最大の幸福にして何人も望む所
如何にせば美貌たるを得るか
カメヤリ洗粉は最近の學理に基き皮膚に特効ある劑料を配合し所謂美身術に適應する最新の化粧料なれば日やけを防ぎ色を白くし艶を増し肌を滑かならしむる特質を備ふるが故に夏期の化粧料として缺くべからざるものなり
殊に婦人小兒の如き軟き肌には効顯最も著し
●美術鑲入發賣 量多く價廉にして携帶上頗る便なり
發賣元 日本東京、大阪、神戶、天津、漢口、上海、小林立次郎

無鉛子代田

無鉛千代田おしろいは

衛生化粧とを完備せる進歩的おしろいにして無鉛無毒性なる事は内務省衛生試驗所の證明せらるる處なり
皮膚に最も有効なる特殊の劑料を配合せるを以て肌に乗りにくく寒さの時にも荒れる恐れなきが故にクリーム其他化粧下を用るの必要なし如何なる暑中と雖も刺る憂なく濃化粧にも薄化粧にも自由自在にして白粉やけ日やけ等の恐れなきのみならず確實買の温泉場にて使用せらるるも變化する事なし香料は最佳の花香のみを採りて其優秀なる香氣は恰も百花爛漫たる必麗園に遊ぶの感あり

發賣元 (電話漢花三九三) 山岸三之助
東京日本橋區馬場町四丁目廿一番地

特約大販賣店
關西代理店

●乳白化粧水レイト

模偽品續出せり!!!

是れ本品の眞價他に見るべからざるものあるに基因せり
 レイトは化粧水中比類なき優良品なるが故に幾多同種の化粧
 品中獨り東宮職御用品として御買上の榮を荷へり
 レイトは如此社會の信用を博し紳士淑女間に賞用せられて
 需要の多額なるより奸商之を偽造し輕薄者流は乳劑を標榜

圖縮ト一レ水粧化白乳



大瓶 金五十錢

小瓶 金三十錢

東京 平贅尾平 大阪

して之に紛はしきものを製出せり
 レイトは模偽模倣せらる、だけ聲價加はりたるものなれば此
 際營業上の信用を博するには眞正なる本品を取扱ふに若かず
 是れその模偽模倣品の現はれたるが爲に本品の眞價は一層發
 揮せられたりといふべし

●乳白化粧水レイト

販賣諸君御注意あれ!!!

開花香油

高評石鹼



標商録登府政本日



驗石クスムツフ

發賣元 山田篤三
 東京市日本橋區橋町四丁目

ツラ石鹼

景品附發賣
 漆器柱掛金地黒文字看板及繪葉書
 東京市日本橋區橋町四丁目
 發賣元 山田篤三

パスタ石鹼

長くも天皇陛下に献納して御嘉納の榮を賜り特に富美宮泰宮兩内親王殿下の御日用品として召されたる名譽ある本品は如何に品質純良能力完全にして皮膚に有効卓絶なる逸品なり

かば敢て喋々を待たざる所に於て亦た其馥郁たる麝香スミレの香氣は使用後尚ほ數日間身邊に愛すべき美薫を保ち且經濟と實用兼備の逸品なり

金銀光玉○金平糖瓶○レンス○ラムネ玉○ハシキ○舞玉一切○石ケリ○玉眼
 ウスモノ瓶及小細工物一切

東京市日本橋區橋町四丁目
 發賣元 山田篤三

問風屋

東京玻璃製品商會

本店 東京市日本橋區橋町五丁目六番地
 支店 東京市日本橋區芝町二丁目十一番地

美の造花材料

東京市日本橋區橋町四丁目拾六番地
 天野卯兵衛商店
 電話 浪花一六四三番
 振替口座 四九七〇番

一等賞牌
 受領

東京特約店

右之通り景品附を九月十五日より發賣任り候間御便宜の御取引店へ代金相添御用命奉願上候也

輸入元 オーク商會
 電話 浪花千五百三十三番



禁止及立針(寶石入)

販賣準備整頓

●本品ハ輸入防遏ノ爲ニ數年前ヨリ製作ニ研究シ今ヤ本邦ニ於ケル下店ノ獨占事業タリ

●下店ハ金屬裝飾品ノ製造工場ヲ本所區番場町ニ特設シ多數ノ職工ヲシテ日々製造シツ、アリ

●立針價格 アルミ代寶石入一打ニ付金五拾錢以上五圓迄銀製品ハ五圓以上貳拾圓迄

●立針種類 本年ハ特種數百種

●立針御注文 ノ新形ノ御指直ニ應ジ御向ニ相叶ヒ可申候期スベク候

●代金貯引 貴宜ク相計リ御不向ノ物品ハ到達ノ日ヨリ一週間以内ニ御返戻被成下候

●振替貯金 ハ御都合上他品ト御取替又ハ代金

●尚婦人頭飾小間物ハ流行ノ先驅ニ有之候間何卒數ノ多少ニ論ナク御高命ノ榮ヲ蒙リ度候

●舶來襟止立針ノ新荷毛陸續輸着取揃居候

東京市日本橋區馬喰町四丁目

婦人小間物卸商 宮本庄七

長電話浪花(一七一九) 振替貯金口座(二〇〇三)

BROCHE AND PIN!

時評

△日韓協約曰く日佛協約曰く日露協約曰く三協約成立して上下世界の平和を謀りて知れり協約の成立能く倍大の有効果を謀りて知れり協約の成立能く倍大の有効果を謀りて知れり協約の成立能く倍大の有効果を謀りて知れり

△昨日 仇敵たりし露國も今は握手親交を加へ昨日恩恵國たりし米國は我を排するの張本人と化し去る覆雨翻雲は社會の常態か

△加州 臺灣に於て日人を排斥し暴力を以て壓迫を加ふ白人文明か黄人野蠻か暴行暴力は白人の特有にあらざる白人の専有物

△黃禍 歐は實國の同情を買はんとする強辯なりしが今は又日人排斥の口實に供せらるる實人能く働くが爲めに禍となるか

△自己の怠惰に想到せずして日清労働者の能く働くを嫉視す文明國の精神教育なるものすべて是れ如此の吾人は文明國を惡む

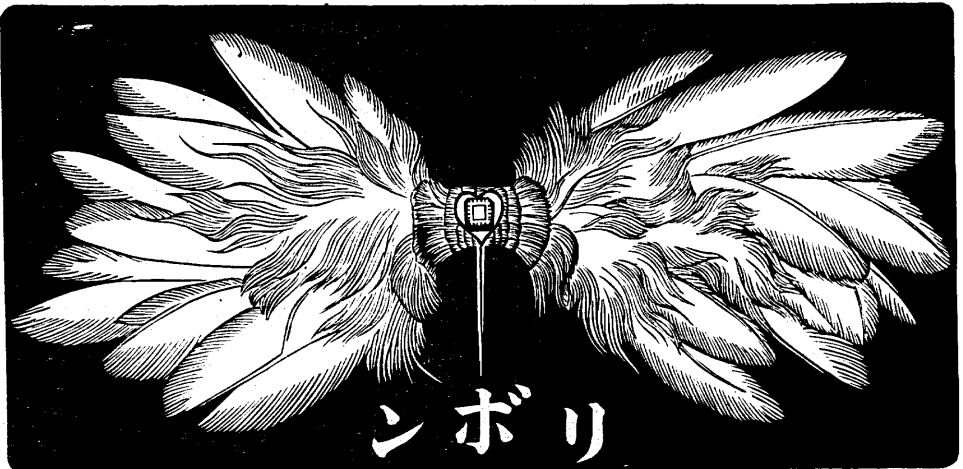
△文明 先進國と尊重し一も二もそが真似するは者へ物なり馬脚を露はし來れる文明國の眞相を見ては彼等に輸入したる人物とならず前田清次となりて今村藤太郎の手に殺されんば已まざるべしあな怒るべし

△日韓協約の成りて統監の朝朝するや下學つて歡迎せられ日も足らず此の老由來幸運見時に美女を離さぬを妬嫉るゝが關の山運見時に美女を離さぬを妬嫉るゝが關の山運見時に美女を離さぬを妬嫉るゝが關の山

△統監 歸來意氣軒昂得意満面女子の御をして娶子たらしめしが如し而かも是れ得意なるはなし交通機關にあらず故障機關なるか

△大博 數地も異論ありてなかく定まら

濟録登案新用實及許特賣專



ンボリ

(ンボリナヒ子ハルツ) 品名

店支本森元賣發京東

地番壹目丁武町山橋區橋本日本京東

東東業勳 京發獎會 牌銅受領

新 宮崎物産屋

當商報の廣告を見て廣告主に御照會相成候節は午御手數書面中へ

「東京小間物化粧品商報」紙上にて御覽に相成候旨必ず御附記被成下候様願上候

の不明なるもの述を接して起る是れ何兆

△社會 進むにつれて未知のものを見出するが研究を積むるとき更に未知のもの來る行きつて盡きざるが常人は苦勞絶えず△人間 何の爲めに生れ何の爲めに死か惜しきか不可解のこととに過ぎたるはなし天界地球の研究は成れりといふも自己は未し△不可 解を解せんとして疑問し不可解を苦にして世を厭ふ世人は薄志なり華嚴の繁昌は社會衰亡の基之を誘起したるは變哲學△不知 を知らずとせよ是れ知るなりとは能くいひたるものか新く觀じ來れば絶えて華嚴に起る必要ならん知つた振が害也△星童 のみが自然の美妙にあらず角宿の△有 人が有る人士にあらず星童に憧れるゝ行燈持が角宿の尻のみを羨ふは愚慮の足らざる所

高評石鹼
開花香油
大工場各と鑛山應急工アルボース

カメヤリ洗粉



美貌は婦人の生命なり
或學者は唱へたり、獨り婦人のみならず
美貌は人生最大の幸福にして何人も望む所
如何にせば美貌たるを得るか
カメヤリ洗粉は最近の學理に基き皮膚に特効ある劑料を配
合し所謂美身に適せる最新の化粧料なれば日やけを防ぎ
色を白くし艶を増し肌を滑かならしむる特長を備ふるが故
に夏期の化粧料として缺くべからざるものなり
殊に婦人小兒の如き軟き肌には効顯最著し
●美術雜入發賣... 量多く價廉にして携帶上頗る便なり
ライオン齒磨本舖
發賣元 日本東京、大阪、小田原、東京、大塚、小田原、東京、大塚、小田原

磨齒石



粉と煉製の二種あり
東京市日本橋區橋町四丁目
發賣元 山田篤三

本日政府登錄商標
フジスグ石鹼

大工場各と鑛山應急工アルボース
各に爲の工務に必らず

薄薄 荷油

横濱市太田町二丁目
小林桂助
油香煉等高



CHERRY-POMME
TRADE MARK
HATBROTHERS
PARIS

ウツラ



香水の代用を爲す●卅五號は芳香濃郁として化粧衛生、經濟を兼備せし大有益なり

東京市日本橋區橋町四丁目
發賣元 山田篤三

石鹼

東京勸業博覽會に於て
一等賞牌を受領す

一號及二號は品質純良一度使用すれば愛すべき勝香水ミレの匂ひ數日身邊に漂り
化粧衛生、經濟を兼備せし大有益なり

東京市日本橋區橋町四丁目
發賣元 山田篤三

麝香石鹼

第四回帝國五二品評會に於て名譽金牌受領

神戶鳴行
持電一五二
代理店 小林ライオン店

新花王 煉白粉



東京市日本橋區橋町四丁目
發賣元 山田篤三

御髮のくせををし一名美男桂
東京市日本橋區銀座三丁目
かつら松澤商店
賣捌は各小間物店賣藥店

チアリールポマード

●畏 各宮殿下御用輸入元 東京 高橋
●毛髮を艶美ならしめ最も愛すべき花香を有す
●夏季に至りて腐敗の虞なく香氣持久の効あり

定價 二號廿錢
三號廿錢

特約店
脇田盛具堂
田中花王堂
大和屋 小兵衛
柳下藤五郎
佐々木 玄兵衛
森庄助 西店

天狗印商品目

- メリヤス類一式
- シャツ 手袋
- 沓下 糸エリ巻
- 絹下 毛織物
- 沓下止 耳袋
- 絹綿ハンカチーフ
- エツプル
- 其他防寒メリヤス類

●種々
●右誠實ヲ以テ大勉強
●仕候

東京市日本橋區橫山町貳丁目
天狗印
マリス
金森田商會
電話浪花(二〇八五)
振替口座(六六六七)

各國大博覽會賞牌受領
精製純正
古今實香
改正實香
伊勢屋吉次郎謹製

粗製濫造防遏の途

品質の確保と取引の誠實

品質の確保と取引の誠實
品質の確保と取引の誠實
品質の確保と取引の誠實
品質の確保と取引の誠實

東京小間物組合録事

九月十日 午後一時より組合事務所にて博覽會出品同業總會を開き同會所有博覽會出品箱及其他附屬品一切を競買し附屬品の可決し即時競買に附したるも定價格に充たざりしを以て更に來る十五日再競買に附することに決せり

九月十一日 前記の次第を會員へ通知せり

九月十五日 午後三時より博覽會出品箱箱及附屬品一切を競買し競落決定せり

同日 午後五時より組合事務所にて役員會例會を開きたるに出席者左の如し

堀内 藤吉君 大野 幸吉君

田中 吉兵衛君 武井 龍三君

長瀬 富郎君 山田 篤三君

柳下 藤五郎君 松澤 八右衛門君

小林 六太郎君 天野 源七君

安藤 福太郎君 淺井 碩成君

佐々木 玄兵衛君 齋藤 吉次郎君

水野 彌吉君 平尾 贊平君

鈴木 新吉君

同十八日 組合員候補

舊營業所 日本橋區若松町八番地

新營業所 日本橋區藥師町四十五番地

寄贈金

右の通り移轉の旨事務所へ届出ありたり

左に列載する諸氏は本紙の微意を感せられ印刷補助として各頭書の金額を寄贈し以て本紙の發展に資せらるる當商報の面目に過ぎず聊か謝意を表する爲め芳名を列記して紙上に公表す

金五十錢 武州 森田 龜三郎君

金五十錢 遼陽 金光 堂君

金五十錢 十勝 渡邊 小間物商店君

金五十錢 石狩 花摘 新作君

金五十錢 大阪 春元 石輪輸出部君

金壹圓 周防 磯村 藥館君

寄附金は本紙に明記して領收の證に代へ申取渡井碩成宛御照會相成候願上候

懸賞意匠廣告當選報告

本商報去月廿一日より本月十一日迄の三回に涉り掲出せられし新意匠の廣告に付き去十五日の役員會に於て審査したる結果左の

第一等 毛糸及製品廣告

八月二十一日八頁掲載

藤森 治平君

第二等 二八水廣告

九月一日一頁掲載

長瀬 富郎君

第三等 ウツラ石輪廣告

九月一日二頁掲載

天野 磯五郎君

次

四十一點 キング白粉廣告

九月十一日十四頁

淺井 本店君

三十九點 レット廣告

八月二十一日二頁

平尾 贊平君

二十五點 バスタル石輪廣告

東京石輪機械煉製造業同盟會

注意

第一等 同一廣告一回無料掲載

第二等 同 半減 掲載

第三等 同 三分一減 掲載

第一 本會は東京石輪製造業同盟會に於て機械煉石輪製造業を營むる者をして組織

第二 本會は機械煉石輪の改良を圖り粗製濫造の弊を矯正防止し製品の信用と會員營業上の利益を保護増進するを以て目的

第三 本會員は違約處分を爲したるものと取引する原料商と一切の商取引を爲さざるものとす

第四 本會員は販賣品に對し紀念品又は福引景品等を添付せんとするときは其都度本會に届出承諾を得べきものとす

第五 本會員の販賣したる石輪にして品質の粗悪又は災害等に依り取引先に於て變質又は破損等を爲したる場合と雖も本會は承諾を得ずして直引等を爲すことを得

第六 本會員は六十日以上上の延取引を爲さざるものとす

第七 規定の手續に依り違約者と認められたる會員は其調査委員に對し工場の臨檢帳簿の検査を拒むることを得ず

第八 本會に取引者名簿を備へ石輪販賣取引先及原料買入取引先を登録するものとす

第九 新に登録すべき者又は登録の取消を要する者あるときは總會の決議に依り之に登録又は取消を爲すものとす

第十 登録したる取引者にして左の行爲ありたるときは總會の決議に依り取引者名簿より削除するものとす

一、紀念品福引景品込等如何なる名義を以てするも事實上於て定格以下を以て販賣したる者

二、他の石輪を格外に直引し以て定格維持を假裝し共通販賣するが如き等の行爲ありたる者

第十一 本會員は取引者名簿より削除したる取引者と一切の商取引を爲さざるものとす

第十二 本會は違約者の販賣取引先と本會員の商取引を停止することを得

第十三 本會は毎月一回總會に於て無名投票を以て違約者を檢舉するものとす

第十四 總會に於て違約者檢舉投票の結果五點以上の者あるときは之を違約者と推定し直に委員を設けて之が調査を爲さしむるものとす

第十五 調査委員に於て違約者と認めたるときは直に總會を召集し會員四分の三以上の同意を以て之が處分を決定するものとす

第十六 理事は毎月一回市場に於て會員の製造品を買入れ取引状況調査の資料に供し之を總會に報告するものとす

第十七 本會に理事七名、幹事三名を置く

第十八 理事は總會に於て選舉し其任期を六箇月とす

第十九 幹事は理事の合議を以て指名選任し其任期を一箇月とす

第二十 理事は本會諸般の事務を處理し幹事は庶務を分掌す

第二十一 理事は互選を以て理事長一名理事副長一名を定め本會全般の事務を統轄せしむ

第二十二 理事又は幹事に缺員を生じたるときは直に之が補缺選舉を行ひ任期を繼承せしむ

第二十三 理事及幹事は其任期満了前と雖も總會の決議に依り解任することを得

送状書式の一

天津及び上海に於ては今日本文の送状を受理せんとす

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

送状書式の一

本組合は品質改良と原料騰貴の爲め

諸石鹼一割上ダ

右九月二十日より實行仕候

東京石鹼製造同業組合

時代の要求する婦人

女子商業學校校長 和田垣三
法學博士

抑も社會の事といふものは、其何事たるを問はず、社會自らが之を要求し、又之れを成就せしむるものである。試みに然るの世間との關係を絶ちて、單獨に發生する事實があるかと思考へて見るに、左様な道理は決して有り得べき者ではなす。この意味から云ふと『社會の聲』といふ事は、なかく「怨せ」に於けるものである。例へば今の女子教育に對する世評に耳を傾けて、はやく「考慮」を致して見るならば、自づと此の社會が如何なる婦人を要求しつゝありやとの問題は、解決されるではあるまいか。

現今のやうに、輿論の、清々たる、多數の學生間に行はるゝといふは、無論學生其の者にも罪はあるであらうけれど、

もなきに空想に奔りたる女子に對つて、徒らに高尚なる理想をのみ抱かしめ、實際に掛けた空想をのみ説くが如き教育の方法を探らしめた周囲の社會にも、大の過失を歸せねばなるまい、處か其の善良な方面に實果が現はれないで、却つて墮落すべき無稽ばかり著るしく目下立つて來るやうに爲つたので、何か之れを不意の出來事であるかの如く、社會は驚き立つて無闇と攻撃を爲したのである。

然し、畢竟は身から出た錆とは云へ、漸く其點にお氣がつかれて、他方に新なる善き者を求めんと努めて居るものは、甚だ結構なことである。之れに就ては我人共に充分の結果を持ち來たすやうに爲さなければならぬと思ふ。



初秋の道

私には或時大隈伯邸に行つた所が、伯は近頃養鶏を思ひ立ちになり、或る簡單なる機械を以て、雞卵を孵化し、其結果誠に面白ひので、之れを全國に普及せしむる時は確かに、二三億の純收入を見る事が出来る……云々實質に結構の事であつた。

其の時思つたのに、世の女子教育も矢張り一種の養鶏事業だ、一種の孵化事業だ、我々と雞を育てるので、決して「雞籠」を握へるのではない。

惟ふに世評が今の女學生なるものに憚らずして、何等か他に新なる善きものを望むのも、要するにそれが餘りにお難儀的、然らずんば跳ね返りの人形的な愛想をつかして居るのであるから、次に來る者は必ずしも世評が今の女學生なるものに憚らずして、何等か他に新なる善きものを望むのも、要するにそれが餘りにお難儀的、然らずんば跳ね返りの人形的な愛想をつかして居るのであるから、次に來る者は必ずしも

所謂人としての心掛け
今の大勢は、小學校卒業生で、高等女學校卒業生は、極めて少數であります。云々普通の學問も満足に修めなない妻君が多いのでありますから、是等の妻君に六ヶ敷の理屈を云ひ聞かして、妻としての心掛けを説いても、果して其の云ひ聞かされた理屈を解する事が出來まいと思ひます。元來此妻としての心掛けと云ふのは、極めて範圍が狭いやうではあるが、中々六ヶ敷の事で、誰れも分つて居る事やうで、其實分つて居る人は少ない。

此の妻としての心掛けと云ふ事は、即ち女としての心掛けで、又母としての心掛けであつて、人としての心掛けであるから、先づ斯様な、込み入つた理屈は、普通なる所謂世の多數の妻君には、御分りになるまいと思ひますから、茲には尤も平易な、而して尤も分り易い事を説かうと思ひます。

妻としての修養に就て

文學士 下田次郎

所謂人としての心掛け
今の大勢は、小學校卒業生で、高等女學校卒業生は、極めて少數であります。云々普通の學問も満足に修めなない妻君が多いのでありますから、是等の妻君に六ヶ敷の理屈を云ひ聞かして、妻としての心掛けを説いても、果して其の云ひ聞かされた理屈を解する事が出來まいと思ひます。元來此妻としての心掛けと云ふのは、極めて範圍が狭いやうではあるが、中々六ヶ敷の事で、誰れも分つて居る事やうで、其實分つて居る人は少ない。

此の妻としての心掛けと云ふ事は、即ち女としての心掛けで、又母としての心掛けであつて、人としての心掛けであるから、先づ斯様な、込み入つた理屈は、普通なる所謂世の多數の妻君には、御分りになるまいと思ひますから、茲には尤も平易な、而して尤も分り易い事を説かうと思ひます。

理想の妻を造れ

私は妻として完全なる婦人、母として健全なる婦人、婦人を造り出さうとするには今の女子教育なるものを根本的に改良しなければならぬと思ひます。

現代の女子教育では、到底完全無缺なる妻を造ることが出来ません。母としての道を出す事は出来ませんが、母としての改良する必要があると見ます。是非とも是れは改良する必要があると見ます。先づ一般妻たる人の職務は何であるかと云ふに、夫に勤めをする事、家庭を修める事の二つであつて、是れを完全に、何處も疵を打たれる處のないやうにするのが、即ち

現代女子の缺點

松原至文

國の大小小説ツルゲネフの『アタシ』といふ小説に、アイデヤクスタツといふヤリリストといふ言葉がある。これを日本語に譯すると理想家的現實家といふ意味になる。ツルゲネフは此の理想家的現實家を描いて、殆んど女子として、はた人間として、我々の眼から見るに完全に近い人を作り上げた。理想家的現實家といふのは、餘り理想にばかり偏せず、餘り現實にのみ偏せず、理想にのみ偏すれば實際世間の事に疎くなつて面白く世渡りが出來ず、又あまり實際的になると、人間が興味しなくなるが、高尚なところが無く、又一方に實際家を兼ね、實際家にして又眞は理想家であるといふ風の人をいふのである。これはツルゲネフばかり理想的人物でなく、我々としてもかゝる人となり、

味になる。ツルゲネフは此の理想家的現實家を描いて、殆んど女子として、はた人間として、我々の眼から見るに完全に近い人を作り上げた。理想家的現實家といふのは、餘り理想にばかり偏せず、餘り現實にのみ偏せず、理想にのみ偏すれば實際世間の事に疎くなつて面白く世渡りが出來ず、又あまり實際的になると、人間が興味しなくなるが、高尚なところが無く、又一方に實際家を兼ね、實際家にして又眞は理想家であるといふ風の人をいふのである。これはツルゲネフばかり理想的人物でなく、我々としてもかゝる人となり、



色秋の岸海津府國

かゝる見渡す、現代の女子には分別家は澤山あるが、あんなさうな様であるが、失禮ながら「分別」には長じて居るけれども、眞の戀に依つて、精神的な、世間利益のある立派な良人を御主人に持つて、一方に生活に困らないやうにして置いて、他方に世の中を益して行かうといふやうな高尚な智慧が「無」の「金色夜叉」のお宮のやうな女は分別屋であつて、身に綾羅をまとひ、口に良肴佳肉を取り得るやうになつたけれども、精神上の智慧が足りなかつたから、臍を嚙んで死んで足らぬやうな、精神上の苦悶に陥つて、肉體の苦痛以上の苦痛を嘗めたではありませんか。金のある人を良人に持つて、世間體の可い暮らしをして行くのも人間の一つの樂い暮らしであらう。然し、その上にもつと面白い、高尚な、樂しみ甲斐のある、大變佳いたのしみがあります。それは智慧に依つて得るべき、理想上のたのしみである。この樂しみを知らずして、徒らに現實の事にのみ耽溺して居る、人間らしい人間としての道に叶つた人間とはいへません。眞の戀、眞の精神上の智慧によつて、神妙にもしからぬ心の約によつて、良人と定めた人の爲めには、あくまで、奮闘して、世間の爲めにならねばならぬ。その奮闘は、自ら現世の分別にまねばならぬ。殊に男子といふものは、動ともする、理想的に流れ易いものであるから、その點は女子の責任として、倦くまで、現實の方面を支持つて、自分で世の中と戦はねばならぬ。

余は現代の婦人論に、この理想家的現實家であつた事を願つて置く。

東洋諸港の現状

印度に於ける英領東洋の森田田島局長は、東洋に於ける諸港の現状を、その要約として、以下に述べた。...

東洋の最大と稱するドックは、最早陸上の設備に移り居申候。日本人の技師長たる一大製粉工場も、益々發達の由に候。去れり日常品たる我製品を當市場に於て見出さんと、甚だ困難に御座候。輸製品に於ても、陶磁器に於ても、珪藻土に於ても、紙巻煙草に於ても、總て甚だ困難に御座候。...

新嘉坡も亦香港と同様に御座候。一に我が耳を聳たしめし事は「スルタン」商標を有するパイナップルの鐘詰工場(此パイナップルは我國に於て大に利用せらる。鐘詰に御座候)を英人の手より我國人に移りしことに御座候。此事業は敵に糧を餉るの古智を活用したる某資本主の手に成るもの、由に御座候。一時間の汽車を走らして此新嘉坡孤島を横斷し、對岸の保護王國(日本の約三分の一)ジョホールを訪申候。汽車の沿道は雜木林を開墾した處に、新たに護國の植付けられたるを見候。當地及ジョホール并に馬來半島に對しては、殖民政府は護國の植付けを奨励、致候由に御座候。...

ジョホールに於ては、愛入譯氏數萬圓を投じて一大護國園を近頃買入れ候由に聞及候。賣笑婦の屋主の一二其護國を以て、此ジョホールに於て護國に投資するの善用を見出し候由に御座候。當地にては護國園を開墾する土地の如きは、其價安く、開墾年期拂下の制有之、一エーカー十圓以内にて拂下出來候由に聞及候に付、其年期開墾費成功後の地租等詳細取調方領事館に依頼致置申候。...

新嘉坡及當島南にて積込候コブラ(ヤン)實の内地は、實に夥しきものにて、其到着地は佛國及英國に御座候。皆石油原料油に精製せらるるもの候。而して其製品は我國に輸入せらるるもの候。近く原料を得らるべき我國にして、今尙如此大段にて石油製造業者よりコブラ買入の手續を取調方申出候もの有之、多少考も有之候ものと被存候。時來らば該製造業者をして、原料共同製造の方案を講せしむるも可なりと被存候。

評判記

乳白化粧水の偽造

平尾養平商店の乳白化粧水「レイト」が乳劑化粧水としての元祖と稱せられ品質効能遠く歐米の乳劑に過ぎたりとの好評を博し販路一時に増加して化粧水未嘗有の盛況を來したるに必ず生ずべしと豫想されし偽物は、果然出現し偽造の本場といふべき大段地方には多くこの偽造を出す由なれば需用者の注意して有害無効の粗製品を用ひることなく販賣者は偽物を取扱ひて信用を失ふが如きことあるべからず、

ローヤル水の値上と擴張

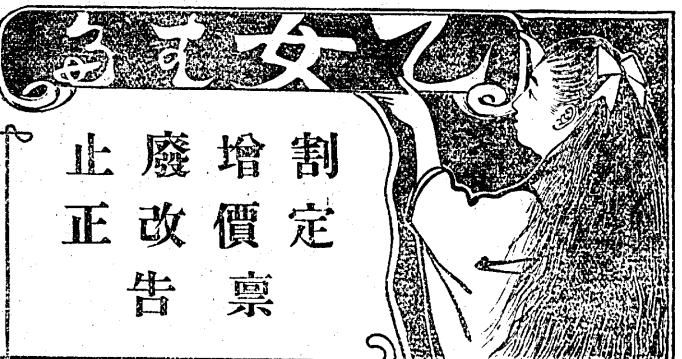
佐々木商店にてはその發賣の化粧水「ローヤル水」の改良とともに値上を實行し同時に業務の擴張をなし各地に大々的運動を開始したるが右販賣者の姓名をも廣告すべしとの旨にて右の希望者を募りしに未だ申込みたるもの豫定に達せず右は各地販賣者が締切期日の短かりし爲め申込み後れて中止したるものもあるに由るべければかくて本館の遺憾に堪へざる所なりとて期日に拘はらず尙ほ希望の向は至急申込みされば可なりとひ居れり、

元祖小町水の値上

平尾養平商店の發賣にかゝる元祖小町水は發賣以來數十年間未だ曾て一回の値上だにならず勉強に勉強を爲し來りしが今同物價の昂騰甚しく到底立ち行き難く尙ほ時代に伴ふ改良を施す餘地なきを憂ひ心ならず本號廣告欄に見ゆる如く斷然値上げすることに決したりとす、

諸石鹼の値上

東京石鹼製造同業組合員の製品は物價の昂騰に伴ひ從來の價格にては引立たざるより相互に申合せ此際品質の改良を施し一致協同の下に粗製製造の惡弊を打破し精製品を製出して石鹼の眞價を上げんものと決議



乙女肌 割増廢止員入 稟告

謹啓弊堂發賣乙女肌幸ひ各位の御庇護に依り販路日増に盛大と相成候段奉鳴謝候然し本品原料逐年騰貴致到底引合兼候に付無據從來季節前御注文に限り百箱入壹捆に對し添付致來り候**割増全廢**致正味百箱入に相改め尙鑑入定價六〇に相改め九月十五日より實行仕候間何卒時勢に伴ふ止を不得結果と御諒察被下不相變御愛顧之程希上候敬具

追て掛の義は二〇賣六〇賣共五半掛に御座候二〇賣は割増廢止の結果卸賣に於て五分方則一函に付二錢六厘値上げに相成候都合に御座候

一手發賣元 **田中花天堂**

東京市日本橋區馬喰町三丁目
(特電話浪花二四二六) ○振替貯金口座番號三三四



森治 治 森 治

Woolen Yarn

東京市日本橋區本町一丁目
電話 二五三三番

失望せる大博覽會

中野武彦君談

▲日本大博覽會に對する希望について何か話せといはれても、私は何も話すべき事がない。唯一言にして曰くば、四十五年に開設されるべき大博覽會に對しては、私は失望したと云ふ外にはない、それはさうゆう譯だ。

▲吾々は嘗て戦後經營の一として萬國博覽會を東京に開いて貰ひたいと云ふ事を全國商業會議所聯合會のあつた時政府に建議した事があつた、そして開くなら何時開くと云ふ事を早く決定して置かねばならぬと云ふ事を併せて申し出た。

▲一體日本の武力は日露戦争で既に世界に認められた、併し平和に於ける戦争の實力は、未だ世界に認められぬ。唯々戦争に強い計りで商工業の發達がなかつたならば、是れは發達の勇であるとは笑はれるから、既に日本の武力を世界に認めしめた以上は、更に商工業の實力を世界に認めしめねばならぬ、其れに萬國博覽會が必要があるから、是非其れを開いて貰ひたいと建議したのだ。

▲其れで念々萬國博覽會を開くと云ふれば、其れには従来の地方的共進會や内國博覽會に出品した様な物を陳列する譯には行かぬから、十分餘裕ある時日を貸して、出品者に立派な品物を出させる様にせねばならぬ。又博覽會の設備についても、十分の熟考を要するから、早く期日を定めて、十分の餘裕を準備の爲に與へねばならぬと云つたのである。

▲所が念々来る四十五年に開かれると云ふ事だ、開かれるは開かれるが、其れは萬國博覽會でもない、去りて内國博覽會である、詰りつちつかずの大博覽會である。そなた、其れで其費用はと云へば、政府は是から毎年百萬圓、五箇年間即ち五百萬圓を出し、開設地からは三百萬圓出させて、残り二百萬圓は収入で埋めると云ふ話、是を聞いて私は呆れて物も云へぬ。

▲土地と云つて少しも買はず、東京府知事が片手間によつた一地方的の東京博覽會ですら、追加に追加して百萬圓もかゝつたのである、然るに況んや一坪何圓と云ふ高い金を出して、地所を買はずばならず、今か役人を置いてかゝるのだから、其月給も拂はねばならず、五百萬圓や千萬圓で、とうして世界各國に笑はれぬ様な、立派な博覽會が開かるものか、私は唯々失望したと云ふ外にはない。



名残の海水浴

し九月二十日より突然二割の値上げを實行したりといふ、

●ローヤルクリーム生れんとす

来る十月中旬を期しローヤルクリームは此の世に生れ出でんとす。右は佐々木商店にて多年苦心研究を積みたる結果になりしものにてかのクリームの名の下に隠れたる白粉の如き澱粉を土臺としたる粗悪品とは全く異なるものにて純佛國式のクリームにしてこの特色としては皮膚の保護營養と粉白の白粉下として最も完全なるもの、由にて之を白粉下として白粉を施せばありふれたるクリームに比し白粉が固まり又は寄るなどして折角の化粧したる顔面に斑を生ずるが如き缺點は毫もなく實に空前の逸品にして化粧品界破天荒の製品なるべしといへり。尙ほ佐々木商店のことなれば例の佐々木式廣告法による外かの包装の美は意匠の優麗たる結果を實現するならんか、

●乙女肌の發展

例年冬あれず白粉化粧下として田中花王堂より發賣の乙女肌一名西洋花いかだの品質は優良にして冬季に起る諸種の皮膚上の病源を除去するは勿論白粉下にして銼毒を防ぎ皮膚を保護する特効ありとは世上の定評なるが今回例により又々發賣せられし由なるがその好評既に彼の如く實効又此の如くならば一年の盛況を見るは勿論にして博覽會に於て化粧下として賞状を得たるもの唯一の乙女肌あるのみに徴すれば他はいふに及ばざる所ならんか

●つや化粧の盛況

日本橋區馬喰町三丁目なる板橋百花堂發賣のつや化粧は化粧下として好評を博し冬季に於ける皮膚の保護料として用ひられ例年冬季に發賣せらるゝが常に大なる好評を以て迎へられ一年に盛況に向ひ現に本年も發賣の旺季に達したるより之れが準備を怠らず例年の如く品質等を生ぜず多々益々辨ずべき準備を盡へて需用者の盛意に酬めべしといふべし。

商標の現況を知るは新聞に報載する

花王石鹼

化粧衛生經濟を兼備せし

家庭用石鹼として 夙に社會に好評を博せり

東京馬喰町二丁目 花王石鹼本舗 長瀬富郎



二八水

を常に用れば皮膚を白くし、色艶を能くし、
又白粉ののりの悪きとき杯は尤も特長あり



鹿齒磨

煉と粉の二種あり
本品の特色は
齒牙の保全と口中の爽快



赤門せしろい

博士方々謂ゆる赤門派の研究に依て出来たる新最良無鉛無毒の白粉にして色艶とのりよきてとは赤門白粉の特色なり

開花スクリ石鹸

意匠登録
るしお玉



信袋即開
信袋即開



氣分を爽快に
THE GEM
セム



今後は社會は、従來のやうに單調なものでは無く、極めて複雑になつて來るのであります。従來のやうな體格上の男女同權論でなく、人格上の男女同權論を大に主張して貰ひたいのであります。又同様に妻として心掛ければならぬ事でもあります。

唱へ出されんとする男女同權論
島村抱月

體格上の同權論は、極めて淺薄なものであります。たゞ體格の上から女子として男子の爲す職業や事務は、行れない事はない、それを女子は力の弱者として男子ばかり割の良い職業や事務を行つて居るの是不當であるなど、片意地の張つた言を云つて、そして男女同權論を唱へ出したものであります。日本は暫く待たず、米國などでは、男子の行ふべき職業や事務までも女子が行つて居るやうな譯で、實に極端な男女同權論であります。然し今後唱へ出される同權論は、今迄のやうな體格の上からでなく、人格の上から見たる完全なものであらうと思ひます。

そこで人格上の同權論が妻たるべき婦人が心得て居て、そして職業なり、勤めなりの上で、各々の職分を誤らない迄も、夫の行ふべき仕事に手を出したり、口を挟んだりする事が無かつたらば、家庭は極めて和合して行くやうになるのであります。

妻君たる婦人に要求
しんす

突然の御聲で纏つた考へも御座いませぬですが、只今思ひつきました考へを御話いたしましたらば、先づ妻たるものは、夫が何んな事業をやつて居りますか、又何んな事をやらうと目論んで居るか云ふ事を知らなければ、大切であらうと思ひます。その事業や、目論んで居る事に必要な材料を集めて、如何なる場合にても之を提供するやうな準備を致して置きますのが妻たるもの、夫に勤めます義務の一つであります。

妻は如何に心掛くべきか
辯護士夫人 村松 直子

夫の爲めに盡せ

主婦が如何に云ふ様な心掛で居りますれば従つて下婢なども、自然主婦の感化を受け、直接主婦が云ひつけませんでも、萬事に就いて、主婦の心掛が籠るやうになり、不經濟と云ふやうな事もいたしませんやうになります事と思ひます。又召使ひの下婢の身に取りましても、主婦の感化を受けましたのが、將來自分が人の妻となり、主婦たる事を得たる場合に、大に爲めになる事と思ひます。

人格は男女の相違はない

我が國の習慣は昔から、女子は内の事をなして、男子は外の事をなすと、定まつて居りますから、女子たる妻は家庭に於ける一切の事務を掌り、又男子たる夫は家庭に必要なる金錢に不自由を掛けざる様に努力すべきは勿論、自分が爲すべき一切の任務は妻君の手を煩はさじとて之を行はねばならぬのであります。

如何にすれば夫の機嫌を取ら得るか

次に、如何にすれば夫の機嫌を取ら得るか、と云ふ事に就いても絶えず心掛けて居らねばならぬ事と思ひます。是れは妻として夫へ勤めねばならぬ義務の、最も大切な事でもございまして、夫は常に社會に出て活動し、何事でも妻よりは、多くの働きをいたしましたものでありますから、妻は之を慰める事に必要でございまして、機嫌を取ると申しますと、言葉がございしますが、畢竟夫の勞を慰め、夫の鬱を散るやうに勤めたいのでございします。

主婦の感化

又一家の主婦として又人の妻としては、常に首見上や、家庭上に有益なる書籍を讀むと云ふやうな事も必要であらうと思ひます。

夫妻音楽を共にす

かう云ふやうに心掛けて居りますれば、自然夫の事業の難易も解し、夫の事業に興味を持つて、夫と音楽を共にすると云ふやうになり、夫と音楽を共にすると云ふやうになり、夫の愛を注いで呉れますから、家内は殊に圓満に、睦まじく暮して行く事が出来ますのでございします。

金牌及金屏風受領
日品質無類 煉と粉

本館 東京赤坂榎坂町 吉岡菊盛堂

明治四十年東京勸業博覽會協賛出品

KIREISUI

高きキー水

鳥を驚かす黒人

雪の肌



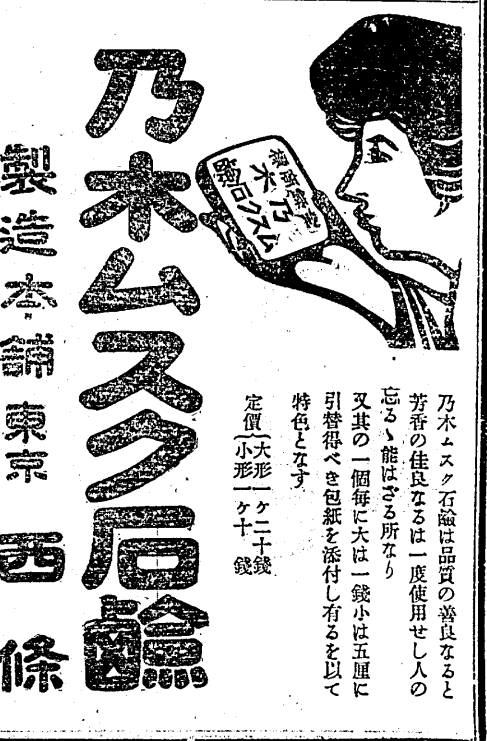
乃木スクリ石鹸

製造本舖東京西條

乃木スクリ石鹸は品質の善良なる芳香の佳良なるは一度使用せし人の忘るべし能はざる所なり

又其の一個毎に大は一銭小は五厘に引替得べき包紙を添付し有るを以て特色となす

定價(大形)一ケ十銭 小形一ケ十銭



小判石は皮膚に有効なる原料を用ひ特種
の製法なれば品質良好にして微細なる芳
香を有し能身軀を清り實に艶美の肌へな
らしむ

小判石

東京本局 特一三三四一七
製 堂 實 三 町 本 京 東



ビクトル、ベシエル氏

佐々木玄兵衛君談
佛蘭西にビクトル、ベシエルと云ふ石
製造家のあるのは、今日の本邦同業者諸氏
の何れもが知つて居らるゝ所であらうが、そ
の知られて居るベシエル氏は、何處に住し
て如何なる生活を営みつゝあるかといふこ
とを紹介するのは、決して無益の業でもあ
るまいと思ひます、殊にその生活が平々凡
凡たるものでなくて、大に人の心目を奪ふ
ビクトル、ベシエル氏



八夫氏へ 園庭と宅邸の氏ルエンベルトクビ

う、この様子が即ち今話さうとするベシエ
ル氏の住宅なのであります、
氏の住宅はパリに於てシャトー・コンゴ
と稱せられ、佛國名建築の一となつて、給
葉書にまでなつて賣られて居ます、そのシ
ヤトーといふことは、城廓といふことであ
りますから、その建築のいかに宏壯のもの
であるかといふことは、大抵推知すること
が出来ると思ひます、
氏の住宅は約五町の周囲を有する庭園と
その本館とより成り立ち、外に七輛の馬車
と、一臺の自動車と、馬車小屋と之に用ひ
る十八頭の馬小屋と之に要する御者運轉手

ものゝあるに於て、ますます徒爾のことで
ないと思ふのであります、
佛蘭西の極めて前に偏して、白耳義には
一時間で達する地盤にルーベールといふ處が
あります、此處がベシエル氏の邸がある
處で、極めて小さな工業の一小都會に過ぎ
ないので、旅客にして若し巴里から白
耳義のガントを経てアンタープに赴くとき
に、夜間このルーベールを通過したならば、
ルーベールの停車場から約一哩程東の方に當
つて、五色の光彩は陸離として人の目を奪
ふばかりの一大樓閣の立てるを望むであら

の住居があります、此の壯大な建築となす
に費した費用は、實に三萬法、之を日本貨
に換算すれば百二十萬圓であります、
私は今その内容を話すに當りまして、私
が漫遊中に氏に面會したときの感想を話す
のが早いと思ひます、
丁度昨年の六月七日にアンタープからガ
ントを経て午前十一時何分かにルーベールに
着く予定でアンタープを出發して、豫定通
りに到着しました、一體私は旅中は背廣ば
かりを用ひて居ましたから、餘り奇麗でな
い背廣の服で、僅かばかりの手提り品を携

へたま、ルーベールの停車場へ着きました
が、其處にフロックコートにシルクハット
の立派な一人の紳士が立して居て、私を
見るや、卒然ではあります貴君は佐々木
さんではありませんか」との問を發した、
私は「ベシエルです」と答ふる間もなく
「私はベシエルです」と名乗つて、相互に
交談しながら停車場の構外に出ますと其處
には四頭の馬車が立派に飾られて待つて居
ました、
私は日本で馬車に乗つたのは、舊馬車鐵
道のあつた頃に、鐵道馬車へ乗り、歐洲で
は馬車に乗つたこともありましたが、まだこ
れほどの立派な、しかも四頭立の馬車に乗
つたことはありませんでした、隨つて乗つて
も妙な氣がして、何となく恥かしいやうで
もある、そこへ先方がフロックコートの立
派な紳士なのに、此方は背廣の旅行服とい
ふので妙の對照になつて居たのです(未完)

●ツルハチリボンの發賣
日本橋區横山町二丁目なる森本店發賣の
ツルハチリボンは化學染色法を應用して光
澤色彩の美なる上に種々の意匠を凝らして
入念に製作したるものなればさなきだにリ
ボン全盛の折柄東洋品としては最も優美
高尚にハイカラ式選品なれば何人にも頭
髪と調和よく起居動靜に風のまにまにヒラ
〜と靡く風情は又なき眺めともなり眞個
裝飾りの粹美にして油染みることもなく褪色
する憂もなく耐久力のあること空前のもの
なれば一般貴婦人令嬢間の愛用を受けるは
勿論やがては一時の一大流行を招くに至る
べきかといへり、

●薄化粧用フレスクリームの發賣
日本橋區本町二丁目なるチエリオイル本
舗高橋初次郎商店發賣の薄化粧用フレスク
リームは煉白粉の代用品ともなり日本
婦人に適應して皮膚の營養と清潔とに實効
ある新輸入品なりといへり効能は洗面の際
など手拭にて摩擦すれば滑らかに美しき艶
を出し香氣よくして精神を爽快ならしむる
などその目極めて多し、

て於に會進共二五念紀旋凱
す領受牌銀歩進

市內特約店

| | |
|--------|--------|
| 丸見屋商店 | 柳下藤五郎 |
| 平尾 贊平 | 佐野 小五郎 |
| 田中吉兵衛 | 淺井 支店 |
| 仲 徳次郎 | |
| 協田 盛眞堂 | 齋藤 吉次郎 |
| 天野 磯五郎 | 齋藤 鐵太郎 |
| 長瀬 富郎 | 大野 金五郎 |

平谷合資會社發賣品目録

| | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 扇子各種 | 和洋石 驗 | 石 驗 | 入 和洋手帳 |
| 雜記習字帖 | 鉛筆各種 | 字消護謨 | ペンナイフ |
| 石盤各種 | 大黒印白 墨 | 學校印紙石盤 | 石 盤 |
| ペン軸 各種 | 各色インキ類 | 水彩繪具 | ペン 盤 |
| 齒ブラシ | 狀袋類 | 呼 試包 | 定 算 木 類 |

尚商品目錄御入用の御方は郵税金貳圓送附を乞ふ
東京日本橋區横山町二丁目五番地
平谷合資會社
(電話浪花一千五百〇八番)

製造元 芝區 木野覺次郎 發賣元 花王白粉本舗 協田盛眞堂

ワス白粉

東京 横山町

顔面と精神の關係 (一)

ドクトル 見玉 修治

▲心の作用と相貌の變化
人間の運命は、處世の第一に於て豫め定まると、古人の中はこれを通り、人の性質の如何も、初対面の一刹那に於て略ぼ知ること出来る。獨逸の骨相學者が、近世獄の囚人に就て研究した結果によると五犯七犯と罪を重ねた、所謂惡黨の顔面には、概ね一定の型があつて、例へば眼が氣味惡いまでに隈込んでゐるとか、額骨が普通外れて尖つて居るとか、口元が歪んでゐるとか、凡て一瞥ありさうな面構へを具へて居るやうで、次に又死刑に處せられた囚徒の頭蓋骨を買受けて、驗へて見たら百人中七八人まで、其頭腦の組織が變則に發達して、俗に謂ふ歪頭であつたとの事である。

我國でも惡人面といへば、繪にもある通り眼が物凄く底光りして、眉と額の間に急迫して、頬骨が高く口許の毒々しいものと、容易に想像せらるゝ處であるが、全く人は其境遇と精神の作用によつて、相貌までも變化することは争はれぬ事實である。

▲顔面は心の反射鏡
如何なる者でも生れながらの惡人はない、始めて此世に孤々の聲を擧げた時は、眼清しく星の密みを持ち、口許は愛らしく、花びらの如きものに似て、邪氣といふものは殆ど見られぬ、それが追々年を加ふるに隨ひ、世間の風波に揉まれ、額に苦痛の皺も刻めば眼に陰険の色を湛へる、同一の人でも失意の時は何となく見容らしむが成功を遂げると自ら福々しい顔になる。居る志を達すと閉ふけれど、單に志ばかりでなく、境遇の變化はやがて顔面にまで現はれて来る、早い話が、貧乏をすれば心が儂ひ、心が儂めば惡念が生ずる、惡念を解せば裏に疾しいから、容貌が陰険になるといふ順序で、畢竟顔面は心の影を映す的確な反射鏡である、されば巴里のロニエ

ルと云ふ老練の刑事探偵は、大抵人相もつて犯罪者の鑑別をつけて、それが百發百中殆んど誤らなかつたとの事で、是等は人相見でも骨相學者でもないのだが、唯だ多年の経験から得た一種の觀相法に相違ない。恠様に相貌と精神とは直接の關係があつて、之を詳しく論ずる日になると足の爪先から頭の頂點まで、相當の理由はあるのだが、ここでは却て煩はしくなるばかりで、専門家以外には一寸解り兼ねるから、茲には可成理論を抜いて、何人にも判り易いやうにホンの大綱だけ説明して見やう。

▲男女顔面組織の差異
顔面の鏡に映る心の變化するのは、主に感情の激動した時である、要すれば憂鬱悦ばば驚く、それを露骨に見出すとは勿論人々の性質にも由るが、其性質を最も具體的に表白したものは、即ち容貌の格構である人の心の其面の異るが如しで、百人寄ても千人集つても全く寸分異はぬといふ顔は、恐らく無からうけれど、骨相學者は大體の上から之を二種に區別してある其一是筋骨が著しく發達して顔は稍長方形を呈し、眉骨高く額骨秀で、毛髪や皮膚が粗々しく、何となく骨張りが角張つて種々の姿を現はしたものと、今一つは筋骨より皮膚が豊かに發育して、骨張らず角張らず、キメ細やかに温乎と圓形を呈した顔型である、前者は男子の正格面を奮闘性の本體を示し、後者は婦人の型格で平和的面影を宿して居る。

昔からの人相見が男子を陽相と云ひ、女子を陰相と稱したのは、つまり此二型を指したのであるが、若しこれが顛倒して男子が女子の如く、女子が男子の如き相貌を呈する時は、それは變形の極端なるもので、彼の小人と呼ばれ小才子と稱する、事は此婦人型の男子に多く、又悍婦とか女傑とか云はるゝのも、男子型の女性に多く暗る處でチャンドラーとか巴御前等の顔面は蓋し此種のものであつたらうと思はれる。

大博覽會と市の負擔

市は大博覽會の敷地さへ未だ決定せざる今日に對する何等方針の決する所なきも敷地を青山と假定し道路網架其他外國の附帯地を概算せしに少くとも三百五十萬圓を要する由に入場料其他の負擔額二百萬圓を損失を招くが如き事なきも到底此利益を以て設立地負擔の三百萬圓を補充し得ることは思ひも依らず従つて市は開港場に千萬圓近く費用を負擔せざるべからず此他公會堂の新築費百萬圓、河川改良費百萬圓をも合する時は合計千二百萬圓の巨費に達し市税の増加にのみよつて之を支持する事はざるに付一時公債を起す外なるべく目下調査中なり而して本月納付すべき博覽會設立地負擔額三百萬圓の内五十萬圓は財源の決定する迄他の費目より流用し置く由なり因に大博覽會構内の貸地二萬五千坪は其狭小なる事今より想像に難からざるを以て追つては五萬坪位に増地を要求する希望なりといふ。

村選なる博覽會費

義に開催したる東京博覽會費は最初二十三萬四千三百九十三圓餘にて全部の計畫を完了すべき豫定を以て三十九年四月の臨時會にて該費額を可決したるものなるが爾來豫算不足の爲め豫備費より支出するのと七回に及び追加算を可決せしこと本會議にて二回參事會にて十五回合計二十四度の多數に上り最近の調査に依れば百三十萬圓以上の巨額を費すに至れり尙此外協賛會にて支出せし費額も勘ならざるが其は一般の寄附金に依り私的に經營せられたるものなる博覽會當局が最初の計畫より三倍以上の豫算の膨脹を來せしは餘りに無責任の甚しきものなりと非難し居る者あり

東京博覽會委員會

十日午前十一時より上野博覽會事務所に於て開會、堀事務官議長席に就き左の諸件を協定して午後一時散會なり
一博覽會事務費一萬七千七百圓を府議會に請求すること
一博覽會事務費は博覽會事務所に於て執行すること
一博覽會事務費は博覽會事務所に於て執行すること
一博覽會事務費は博覽會事務所に於て執行すること

進歩化粧水

店員募集
化粧品製造使用 五名
十三歳以上十八歳以下東京市に保證有す化粧品製造販賣 金城堂 大野金五郎

色白く艶をだす最良の化粧石鹼 (大形小形各種) 色澤名義に注意

製造元 エスエス商会
東京市日本橋區本町四丁目拾七番地
電話 八七九

移轉廣告

今般左記の所に移轉仕候間不相變
御用命仰付被下度此段廣告候也

八月十八日
東京市日本橋區本町四丁目拾七番地
樂器商 唐木屋才平 (貯金口座三一八五番)

數島 製糖
所造製
目丁七町富新區橋京市京東
社國帝馬相
七九八橋新話電

スエーデンオイル (香油)
東京 堂王

美顏用生乳劑キヤク
製造元 エスエス商会
東京市日本橋區本町四丁目拾七番地
電話 八七九

香気乃清香耐久は天下無敵
久遠宜此般下
賜御買立
大瓶 四角十錢
小瓶 二角十錢

鳳舞園
發賣元
東京市日本橋區
米澤町一丁目
電話 四〇三九

特約店
東京 柳下藤五郎
同 脇田眞堂
同 吉田萬珠堂
同 小林支店
大阪

東京の通用語

美術學校教授 竹内久一氏談

言語は時代を代表し風俗を代表する時勢に... 東京語として殊に婦人間の通用語は著しく...



思 秋

切なるはあれと意を盡くすに婉曲を缺きたり... 花柳界中にも藝妓にありては言語應對情景...

雑報

對清商標問題交涉

政府は日露戰爭中清國の委屬に應じて商標法を制定し之を清國政府に交付し清國政府は...

貿易業者へ注意

本年三月二十六日法律第二十號を以て關稅法第三條中保稅倉庫に庫入したる貨物の關稅は...

東京府會の協議會

東京府會は本年の東京勸業博覽會に關する千家知事の功勞に對する感謝の意を表す...

Advertisement for '石鹼' (Rock Soap) featuring large stylized characters and a list of agents.

Advertisement for '容貌美御料カスガオイル' (Beauty Oil) with a list of agents and a small illustration.

Advertisement for '塩' (Salt) listing various types and agents.

Advertisement for '初櫻白粉' (White Powder) and 'クワラ石鹼' (Quila Soap).

Advertisement for 'カ梅香油' (Camellia Oil) with an illustration of a bottle.

Advertisement for 'トラムス石鹼' (Trams Soap) featuring a tiger illustration.

Advertisement for 'トラムス石鹼' (Trams Soap) with detailed text and a tiger illustration.

最近流行の女髻

女髻結 戸根の女の髻

△髪への衛生 大抵と東京の髪結方には油を用ひる用ひないの差別のあることは前に申上げました...

愛國卷

今度は一イカラの結ひ方を御覧に入れたいが此結ひ方は高平小五郎氏さんの奥さんが始めてお結ひになつた...

S.E. 入巻

東髪は私共が結ひますよりも却つてお結ひの方の方が餘程巧み出来て御座います...

特許出願現況

本年八月に於ける特許出願件数と前年同月の比較左の如し

Table with 4 columns: 種類, 出願件数, 前年同期, 比較増減

商品陳列館の設置

大博覧會の建物中將來に保存す可く決定し居るものは美術館のみならず...

Advertisement for '高等高油' (High Quality Oil) with an illustration of a hand holding a bottle.

Advertisement for '三日月' (Sanjūgatsu) perfume with a crescent moon logo.

Advertisement for '天石' (Tenishi) featuring a hand holding a stone and a portrait of a woman.

Advertisement for '小玩物各種' (Various Toys) listing items like 'ゴム並紙風せん' and 'ゴム風船'.

Advertisement for '香界の生命' (Life of the Perfume World) featuring a woman's face and a star logo.

Advertisement for '中岡太洋堂' (Nakanaka Taiyōdō) with a portrait of a woman and decorative elements.

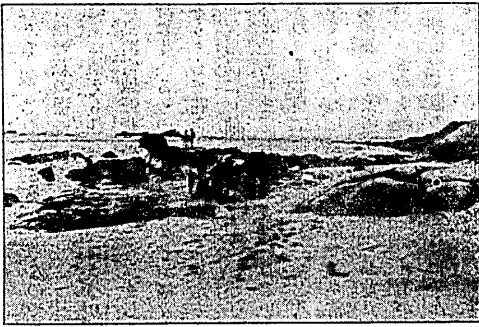
Advertisement for '井上勘藏' (Inoue Kanzaō) featuring a portrait of a woman and text about '玩物問屋'.

Large advertisement for '博愛赤十字會' (Red Cross Society) with a central illustration of a woman and a cross.

人肉製の卓子

伊太利のフロレンス市に在るパツァー
デトビッチなる宮殿中に一個の家具が設
置してあるが其構造の新奇なる恐ろしくは
世界中他に比擬すべきものなるべし
右は一脚の卓子にして一見工製のもの
れとも其質化石したる人間の筋肉及び網膜
より作られたるものにて諸所に骨物が嵌入
しあるは其の卓子に硬質と光彩とを興るが
爲めなり此卓子を仕上げるに少くとも屍
體の一百個を要せしむるべし卓子は圓形に
して其徑大凡一ヤードにして中央に一
脚は分れて四脚となれ卓子の表面は筋肉
より作られ其縁は一
百以上の眼球を以て
裝飾せるが眼球は能
く其光澤を維持して
宛然生ける人の眼に
異ならず此眼球の生
生きたる事に付き
て一の悲慘なる奇談
あり嘗て此卓子の所
有者なりしリッパボ
カ伯(伊太利人)な
る人或夜數名の友人
を招き此卓子の上面
に於て骨牌を遊ばし
伯は偶然其縁飾の眼
球に着眼したるに數多の眼球が恰も一齊に
伯を睨見たるが如くに見へたるよ伯の
驚駭度を得し伯は瞬間にして神志を狂亂し
忽ち卓上に置かれたりし小刀を以て自ら其
胸部を貫きて無慘の最後を遂げたるなり伯
の遺子は其後此悲しき家具を家内に撤置
するを快しとせずして時の政府に事情を陳
べたる結果政府に於て其意を諒して終に
之を買上げたるより乃ち此卓子は彼の宮殿
の裝飾品として今日及ぶる尚ほ依然とし
て保存せらるるに疑なしと云ふ

初秋の跡の海濱



白石寺の幽霊物語

駿州志太郡島田町に白石寺と云ふ真宗の
寺ありて岡山應樂が筆に在れる幽霊の物語
を載せるが何日の頃よりか誰云ふとなく白
岩寺の幽霊として其附近に轟き渡りて愈々
寺に立寄りて一覽を所望する者あり右の書
は幾々たる月影の下に一小池を畫き池邊秋
草の茂れる中に一婦人の幽霊の現はれ出る
ものにて無款なれば應樂が正筆とは認め難
けれども書は全く岡山派の筆にして其狀恰
も見る人に千古の怨を訴ふるが如く實に悲
痛慘憺たるものあり然るに此書幅に付一の
不思議の物語ありて今其來歴を記さん當
時尙ほ此島田町の
名物に傳説を製造す
る清水紋織と云ふ人
あり其父嘗て同郡藤
枝町(島田町より凡
一里半)の或素封家
の家運傾き什器書畫
諸道具等を賣却す者
ありける内に此幽霊
の物語ありしを見出
し買求めて秘藏しけ
るが間もなく癡狂し
續いて其妻も癡狂し
たり然るに妻は何時
も此物語の收めある
所を指さして泣く間
族の者始めて是は全く此幽霊の祟なるべし
と思ひ相談の末表具を修復して其菩提を弔
ひなば必ず不徳散退散して一家安穩ならん
と夫れより早速表具屋に托して改裝を頼み
けるが表具屋某も亦此物語を預かると問も
なく癡狂したり依て更に同地林入寺と呼ぶ
寺へ預け日が其所へ往復して修繕了り
と云ふ此噂は此時より島田町一面に傳はり
ければ寧ろの事に其菩提寺なる白石寺に寄進
して冥福を祈らんとて遂に白石寺に納めけ
るは明治十六年頃の事に夫れより白石
寺の幽霊として、世に噂高くなりけるなりと

公會堂敷地變更

東京市立公會堂敷地は上野公園邊に
徳川家との交渉不調となりし爲め止むを得
ず芝公園九山下と變更せし同所は地質軟
弱にして大建築の造營に適せず又地下室を
造るを得ざる爲め先般より他に適當なる
地を得んと陸軍省に居りしも該敷地は敷地建
築費を込め百萬圓なれば該敷地にて到底適
當なる敷地と建築をなし能はざるを以て市
當局者も頗る困却し居りしに此頃に至り股
野博物館長より該敷地の不調に終りしを
氣の毒に思ひ同公園内に適當なる地域を
貸附くべく盡力せんとの申出であり目下内
務省中なりと

日瑞間貿易開始

スウェーデン、フィンランド、ノルウェー、デンマーク、アイスランド、リトアニア、ラトヴィア、エストニア、バルト海沿岸の諸國を以て日瑞間貿易開始の爲め、各該國の商會、銀行、郵便局等に交渉し、貿易の便を謀るに努むるに在り。右の諸國は、日本と直接貿易の發展を圖らんとする目的なりと

滿洲各地への萬國郵便

左記の滿洲各地へは萬國郵便條約に依る通
常郵便物を發送することを得る旨通信省上
り告示ありたり

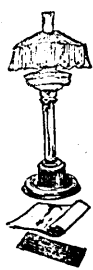
洪水被害程度

内務省に於ては去る八月中旬に於ける各地方
の被害被害程度に就き正確なる調査をなし
つゝありしが右調査の結果は左の如しと
死者四百五十九人、傷者二百三十七人、
行衛不明百八十八人、全潰家屋千四百五十
九戸、半潰家屋千八百戸、流失家屋三千
九百八戸、浸水家屋千八百七十七戸、流失
戸、堤防破壊三千四百七十七戸、橋梁流失
二千六百九十九個、山岳崩壞四千三百八
十二ヶ所、土地流失埋没一萬三千九百廿

東京勸業博覽會に於て賜一等賞牌
シカゴ
御軍陸海
みやげ
本舖 東京 安藤井筒堂 關西代理店 大阪 藤森源之助
原品質は今回歐米最新の機械を輸入し
動力を使用したる最良の空目なり
高
等
両面本目リボン
特約店 全國有名の小
間物問屋にあり
胡蝶リボン
元賣發

案新用實
六八七參壹
中 爾 出
依ボ ン 時 五
てン 應 蝶 五
生界 用 々 八
れ の 掛 刺 十
目一 用 掛 刺 十
下進 用 掛 刺 十
大流 用 掛 刺 十
時 用 掛 刺 十
代 用 掛 刺 十
の 用 掛 刺 十
要 用 掛 刺 十
求 用 掛 刺 十

ラクダ印麝香石鹸
及浴後のゆかすに宜しき香りあり
香いたる五日間も観音として
のほろを失ふは三日大特長を有す
廉低格價 保永香芳 良善質品
目三町石米(元賣發)區橋本日京東
衛兵太上井
Camel musk soap



風俗の變遷

髪は東洋の風俗は雨が降つても傘が要ない、肩にはレースのショールを纏つて...

和歌と俳句

和歌俳句製作の衝動を起す経過を考へて見ると、凡ての詩歌と同じやうに、統覺と連想との移動作用に依るのであるが、其出發點は、和歌が苦痛感情から起るものとされ...

俳句は行動感情から起るものとされ、和歌は受動的で俳句は能動的である。和歌は主觀的で俳句は客觀的である。和歌は、外物に壯麗に見えて自己が著しく壓迫を感じ...

縁日

野口雨情

縁の 野口雨情
本郷四丁目
人の山築く
夜店の前に
帽子被りし
君を見
書生が覗く
第二の架に
第一の架に
生きと
鉢の草花
植木
架には牡丹
「お客さま」
斜に向けた
このやうに
一本が七つ
もう直ぐと
花が咲きます
じろく
娘の顔を
夏
書生が覗く
俳句募集
星野麥人先生選
蜜柑 夜寒 鹿笛
一題毎に別紙に認められたし

白國資本家の視察
白耳シヤンジン代表者たる法學博士...
特設市外電話線
本年度に於ける特設電話交換開始局及び市外電話線擴張に關しては目下其筋に於て...

同業者諸君に告ぐ
ばら齒磨は日本唯一の藥齒磨なる丈け販賣
力に富み何れの地にて特種の賣行あり
ばら齒磨は東京帝國大學教授醫學博士丹波敬三先生の精密なる指示監督の許に調劑せる日本唯一の藥齒磨なり

田中花王堂
文案無料代作
本商報へ掲出
東京市日本橋區南橋本三丁目
特設電話二四二六番

●むしせ上値を水町小祖元に終は會社の新日●

弊社發賣の元祖小町水は本邦に於ける最先の化粧水として各位の御引立を辱うする事茲に數十年に及び原料と云ひ工費と云ひ發賣當初に幾倍せる高價となる上常に最新有効の原料を用ひる爲め自然値上げの必要ある事屢々なりしも幸に多額の販賣高なりしを以て漸く當初の賣價を維持し來り數十年間の變遷に處して未だ一回の値上をなさざりしに最近數年間の物價暴騰は一時的變調子に過ぎざるべしとの豫想に反して如何に販賣の多きを占むる本品も現下使用の最新有効原料にては到底立行べくもあらざるより不得止むに本年十月一日より左記の通り値上を實行仕候間何卒御了察の上不相變御愛顧の程備に願上候

種類 改正定額 改正原價
特別大瓶 壹 圓 七 七
同 小 六 十 錢 七 七
同 大 瓶 三 十 錢 一 打 貳 圓
大 瓶 瓶 十 五 錢 一 打 八 十 錢
小 瓶 十 錢 一 打 八 十 錢
大 瓶 瓶 一 圓 一 打 八 十 錢
同 小 瓶 一 圓 一 打 八 十 錢
同 小 瓶 一 圓 一 打 八 十 錢

但し値上後は空瓶引取の儀御断申候
明治四十年九月
東京 平尾 贊 平
大阪 平尾 贊 平 支店



スミレ香油

かば敢て喉々を待たざる所にして亦た其馥郁たる麝香スミレの香氣は使用後尚ほ數日間身邊に愛すべき美薫を保ち且經濟と實用兼備の逸品なり

發賣 大和堂
本舖 小石川
支店 東京市
町 堀 通

畏くも天皇陛下に献納して御嘉納の榮を賜り特に富美宮泰宮兩内親王殿下の御日用品として召されたる名譽ある本品は如何に品質純良能力完全にして皮膚に有効卓絶なる逸品なり

パール化粧品

東京市日本橋區本町二丁目
高橋 初 次 郎
電話 本局四二三

煉白粉代用品

本品は水又はぬる湯にて顔を洗ひたる後少量を手のひらにぬり、ぬれ手拭にて擦れば、買にあも云へぬなめらかに、よき香を出し、香気よく自ら精神爽快ならしめ、あれを防ぎ、白粉くばり、又は鏡のよる愛なく最も、最新良好な薄化粧料として紳士貴婦人間に高評あり(定額一圓三十五錢)全銷到る迄の賣場小間物化粧品店にあり

東京市日本橋區本町二丁目
高橋 初 次 郎
電話 本局四二三

意匠改正優美

右之直段を以て販賣致候間御希望の各位は壹錢五厘郵券全價格御郵送を乞ふ(但郵券御送附なき注文は發送致さず爲念申述置候)

發賣 東京市日本橋區本町二丁目
高橋 初 次 郎
電話 本局四二三

完全無比

御注意 類似品あり、種類印に御注意を乞ふ

東京市日本橋區本町二丁目
高橋 初 次 郎
電話 本局四二三

紳士淑女

目下化粧石鹸は粗製濫造の極に達す、撰擇に意を用ひざれば其害甚し、本邦衛生化粧用として、舶來品にも優る品質を有するは

サミナニ石鹸

東京市日本橋區本町二丁目
高橋 初 次 郎
電話 本局四二三

高等 消化糖料

白砂糖

東京市日本橋區本町二丁目
高橋 初 次 郎
電話 本局四二三

芳香原料商

石鹸 香水 香油 齒粉 洗粉 洗花 洗藥 洗水 飲料 洗水

東京市日本橋區本町二丁目
高橋 初 次 郎
電話 本局四二三

東京特約店

右之通り景品附を九月十五日より發賣仕り候間御便宜の御取引店へ代金相添御用命奉願上候也

輸入元 オーク一商會
電話 本局千五百十二番

東京市日本橋區馬喰町二丁目十九番地
毎月一日、十一日、二十一日、三十一日、三回發行
五號活字拾九字詰壹行壹回金貳拾錢
編輯兼 鈴 本 久 七
印刷所 台東區 東 國 文 社
東京市日本橋區本町二丁目